

糸取物語

ご使用のてびき

目次

安全にご使用いただくために	1
縫い方のいろいろ	2
このロックミシンの主な特長	3
1 各部の名称	4
2 付属品と縫うための準備 付属品／アンテナ・コントローラー・糸のセット	5
3 試し縫い 縫い始め(メスの固定)／縫い終わり(空環の始末)	7
4 糸かけ 糸かけ全体図／ルーパーの糸かけの準備(はずみ車の固定)／ルーパーの糸かけが終わったら／下ルーパー糸／上ルーパー糸／針糸／太い糸のかけ方	9
5 押え圧力、かがり幅、送り目の調節	17
6 あこ〜でおん(差動)レバー	18
7 4本糸・3本糸・巻きロックへの切換 2本針4本糸(A)／1本針3本糸(B)／標準巻きロック(C) ／変形巻きロック(D)	19
8 針・メスの交換と掃除について 針の交換／メスの交換／掃除と注油について	23
9 押え金の取り付け・取りはずし方／ バルキー押えの使い方	25
10 別売アタッチメント各種	26
11 基本的な縫いテクニック 外角を縫う／内角を縫う／カーブを縫う／縫い目のほどき方	27
12 修理を依頼される前に	29
13 仕様	30



このたびはベビーロックをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。
このミシンは、日本国内向け・家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警告 → 感電、火災の恐れがあります。

- ◇一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◇使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。



⚠ 注意 → 感電、火災、ケガの原因となります。



◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。



◆お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、安全に対し十分に注意を払ってください。



◆以下の場所でのご使用および保管はなさないでください。
・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所 ・高い場所
・お子様の手の届く場所 ・湿気の多い押し入れ等の中
※ミシンの使用温度は0℃～40℃です。

- ◆ミシンは半年に一回程度、理想的には3ヶ月に一回は動かして下さい。
長期間使用しなかったために不具合が生じた場合は、販売店でのメンテナンスをお勧めします。
- ◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。



◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
・メスの交換をするとき ・針糸やルーパー糸をセットするとき
・針板を交換するとき ・押え金を交換するとき
・ランプの交換をするとき ・針を交換するとき
※ランプの交換は、ガラス部分が冷めてから行ってください。

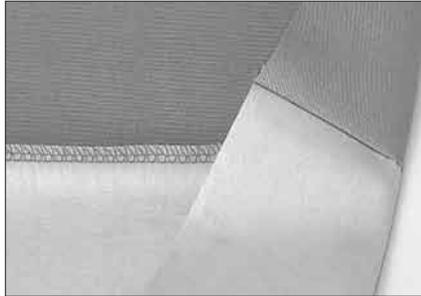
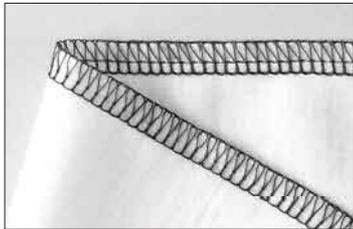
- ◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はしないでください。
- ◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき ・落下などにより破損したとき
 - ・ミシンが濡れたとき ・異常な臭いや音がするとき ・正常に作動しないとき
- ◆操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤、ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
- ◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
- ◆操作時は、ミシン本体のカバー類(メスカバー等)はすべて閉じてください。

縫い方のいろいろ

このロックミシンは縁かがりだけでなく、下記のような多彩な縫い方ができます。また、この他にも工夫次第でいろいろな縫い方ができますので、想像力をフルに活用して、あなただけのオリジナル作品を創造ください。

■基本的な縫い

2本針4本糸 (P19参照)
厚物や縫い合わせをするときに。

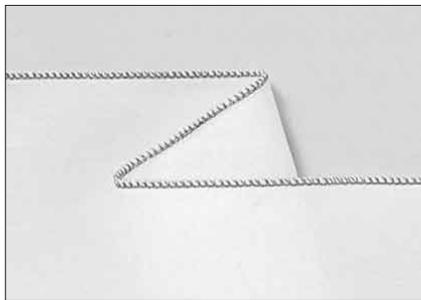
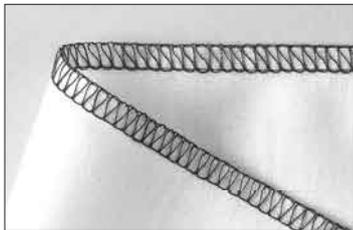


縫い合わせ

二重安全縫いの丈夫な縫い合わせができます。縁かがりと縫い合わせが一度にできてとってもスピーディー。



1本針3本糸 (P20参照)
縁かがりとして。

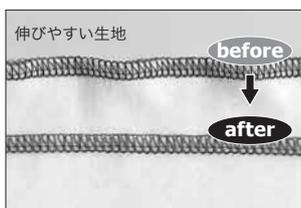


巻きロック (P21・22参照)

オーガンジーやジョーゼットなど、薄物の縁かがりに最適。パーティードレスなどのフリルやコサージュ作りには欠かせません。もちろん巻きロックでも縫い合わせができます。

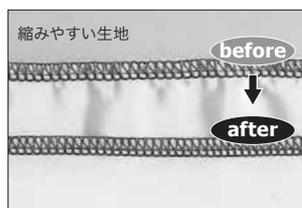
■あこ〜でおん(差動)を使った縫い (P18参照)

縮み縫い



ニットなど伸びやすい生地やパイヤスをきれいに仕上げます。

伸ばし縫い



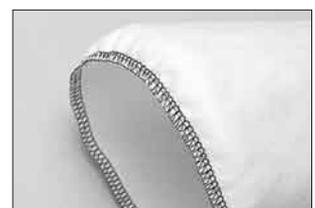
薄地など縮みやすい生地を縮みなく美しく仕上げます。

リブニット付け



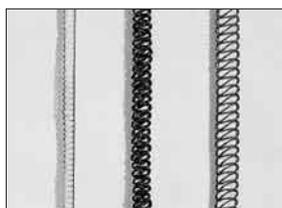
袖口のリブニット付けやフリースカーツのヘムも簡単に美しく。

袖山のいせ込み



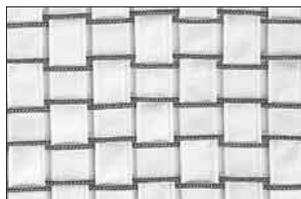
差動比(縮み量)を変えながら縫えるので自然ないせ込みに。

■その他の飾り縫い

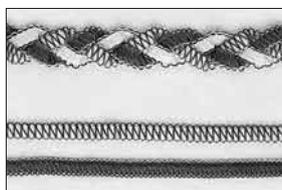


ピンタック
ブラウス等の
飾りとして

巻きロックの市松編み



両側を巻きロックで縫った布を市松状に交互に重ねていきます。

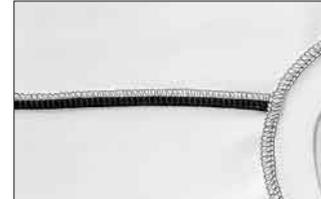


からかん
空環ブレード
ひもに空環を絡ませて、飾りにします。

etc.

■付属のバルキー押えを使った縫い目

伸び止めテープ入れ (P25参照)



トレーナーの肩部分など、伸びやすい箇所に、伸び止めテープ(ウーリスピンテープ)を入れながら縫うことができます。

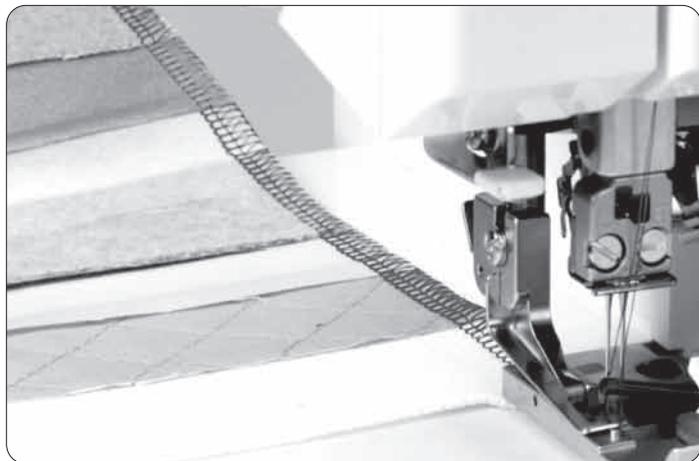
このロックミシンの主な特長

このロックミシンは、ジャストフィットシステム(自動糸調子)をはじめ、エアスルーシステム(自動エア糸通し)など、数々の特許機能を装備しています。それらの機能をぜひご活用いただき、ソーイングライフをお楽しみください。

ジャストフィットシステム(自動糸調子)

4本の糸のちょうどいい張り具合を、ミシンが自動で合わせてくれます。生地の種類や厚さが途中で変わっても、ノータッチで美しい仕上がりが。

(特許番号 第2911389号)



ラクスルー(自動針糸通し)

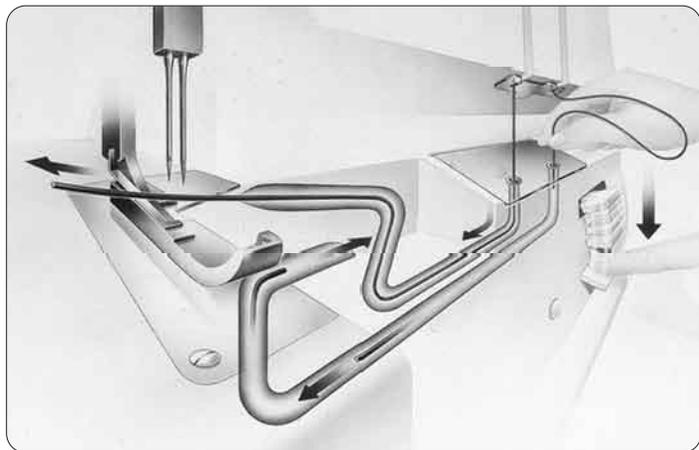
レバー操作で簡単に、小さな針穴に糸を通すことができます。(P13参照)



エアスルーシステム(自動エア糸通し)

いままでのロックミシンの最大の難点は糸通しの複雑さにありました。ところがこのミシンは、空気の流れを使って上ルーバー糸・下ルーバー糸を素早く通すことができます。(P10参照)

(特許番号 第2865470号)



縫い目切換ダイヤル

4種類の基本縫い(2本針4本糸ロック・1本針3本糸ロック・標準巻きロック・変形巻きロック)をダイヤル操作だけで簡単に選択できます。(P19~22参照)



送り目&巻きロック 切換ダイヤル

送り目(縫い目長さ:0.75~4mm)の変更はダイヤルを回すだけでできます。(P17参照)



かがり幅ダイヤル

かがり幅(縫い幅)の変更はこのダイヤルを回して行います。

4本糸:5.5mm~7.5mm
3本糸:3.0mm~7.5mm
(P17参照)



あこ~でおん(差動)システム

伸ばし縫い/縮み縫いがレバー操作で簡単にできます。縫いながら差動比を変更することもできます。(P18参照)

(特許番号 第3386487号)



メス固定ツマミ

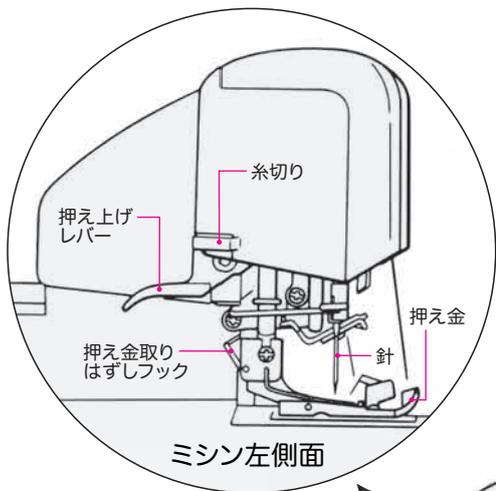
飾り縫いなどのメスを使用しない時は、このツマミをクルッと回すとメスが動かなくなります。ピンタックなど生地を切らないで縫いたい時とても便利。(P8参照)



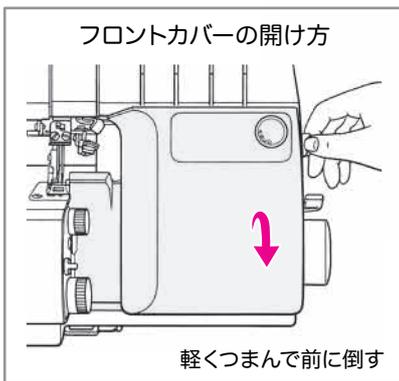
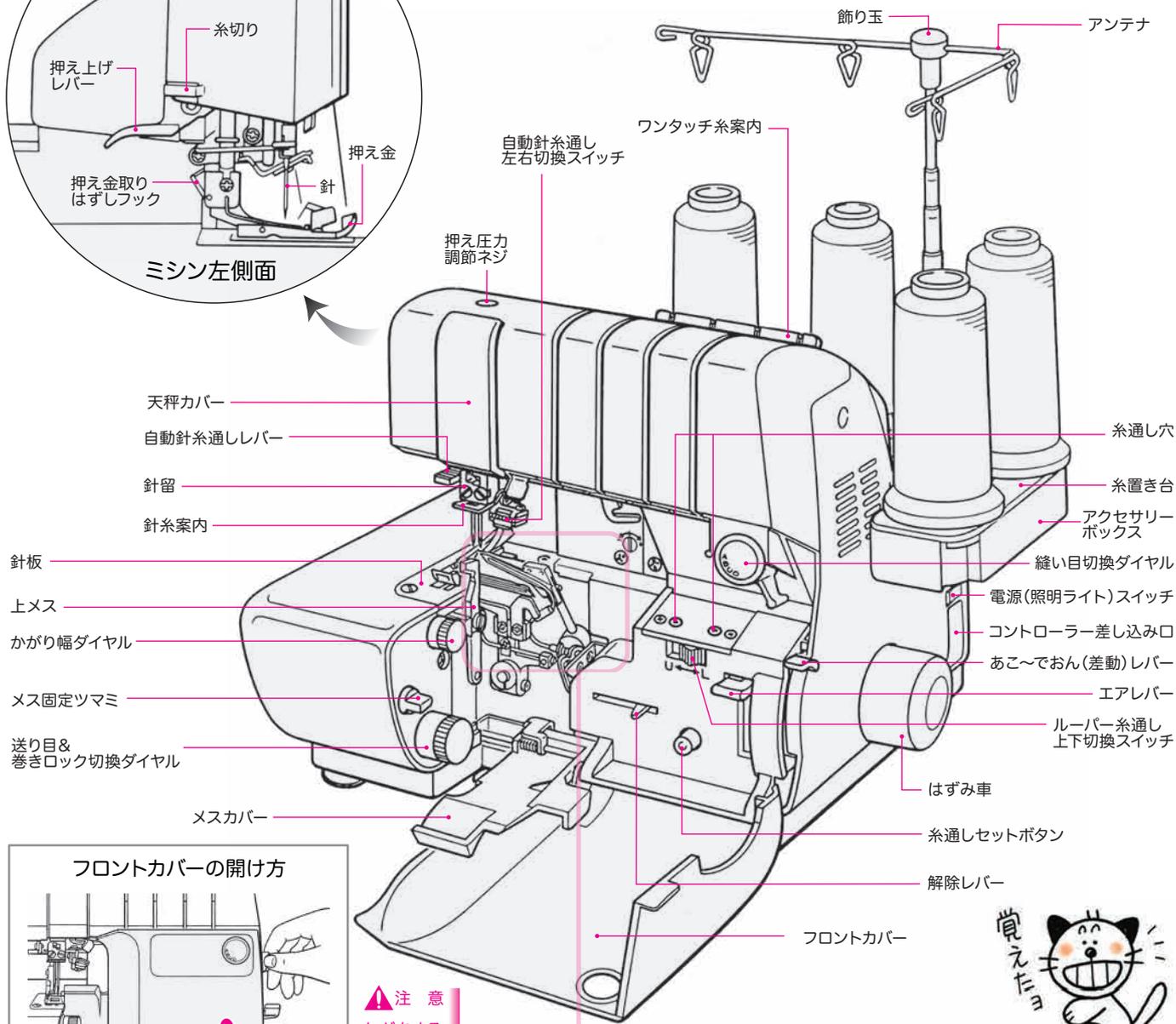
BL66EXSをお使いの方へ ~セーフティストップ機構(安全装置)について~

BL66EXSには、誤作動を防止するために「セーフティストップ機構(安全装置)」が装備されており、以下の時はミシンが動かないようになっています。

- ◆フロントカバーが開いているとき※
 - ◆押え金が上がっているとき
- カバーを閉め、押え金が下がっていることを確認してからお使いください。



ミシン左側面

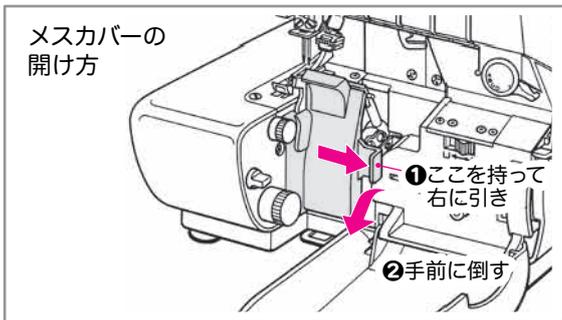


フロントカバーの開け方

軽くつまんで前に倒す

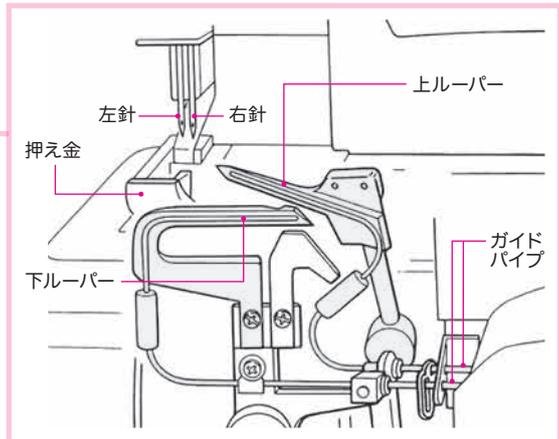
注意
ケガをする恐れがあります。

縫うときは必ずカバーを閉めてください。

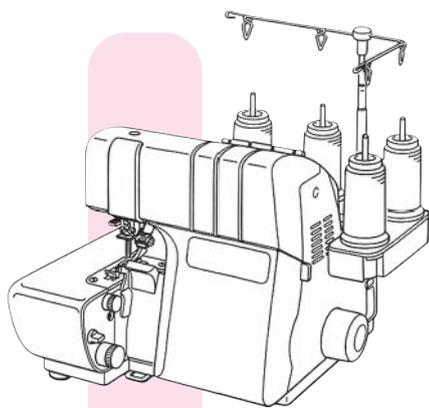


メスカバーの開け方

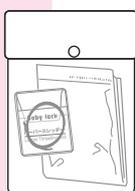
- ①ここを持って右に引き
- ②手前に倒す



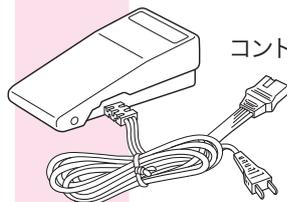
下記のものが入っていることを必ずご確認ください。



ミシン本体



アクセサリケース



コントローラー

保証書

ご使用の
てびき



操作説明
DVD

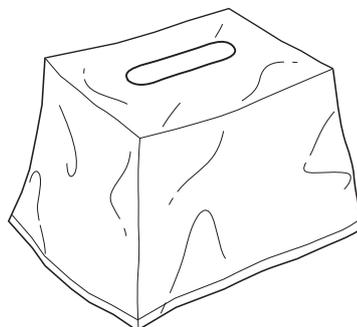
早見表

各部の
名称シール

アクセサリケース内



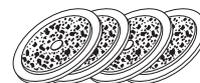
ミシンカバー



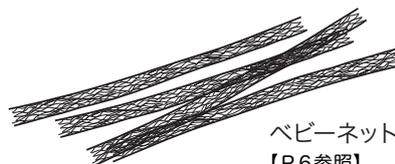
ルーパースレッダー
【P11/12/15/24参照】



駒受け(4個)
【P6参照】

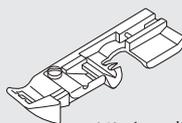
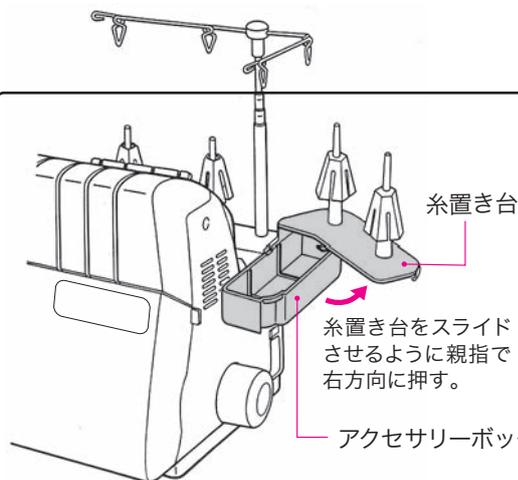


スポンジ付
駒受け(4個)
【P6参照】

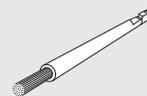


ベビーネット(4つ)
【P6参照】

アクセサリボックス内



バルキー押え
【P25参照】



掃除用ブラシ
(針交換用具兼用)



ドライバー



上メス
【P24参照】



針(HA×1SP#11)
【P23参照】



ピンセット

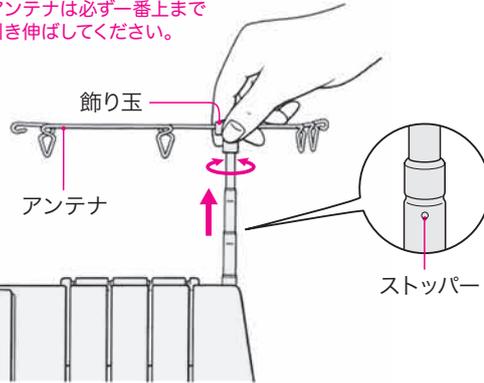
縫うための準備

1) アンテナのセット

1 飾り玉を持って真上に引き伸ばす。

このとき糸がアンテナやそのほかの部分に絡まっていないことを確認。

注 アンテナは必ず一番上まで引き伸ばしてください。



2 アンテナを左右に振ってストッパーを固定する。

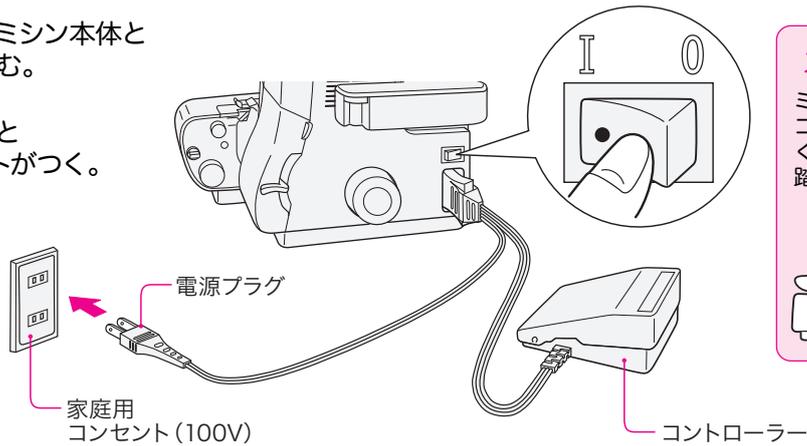
2) コントローラーのセット

1 コントローラーのプラグをミシン本体と家庭のコンセントに差し込む。

2 電源スイッチを [I] にすると通電状態となり、照明ライトがつく。

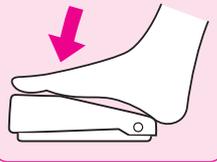
注意 火事の原因になります。

- ◆ プラグをコンセントに長時間差し込んだままにしない。
- ◆ コントローラーの上に物を乗せない。
- ◆ 電源コードを抜くときは電源スイッチを切ってからプラグを持って抜く。コードを引っ張らない。



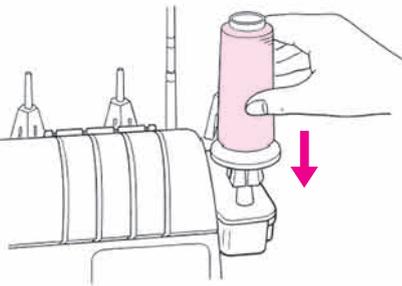
スピードの調節

ミシンの縫い速度はコントローラーを強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。



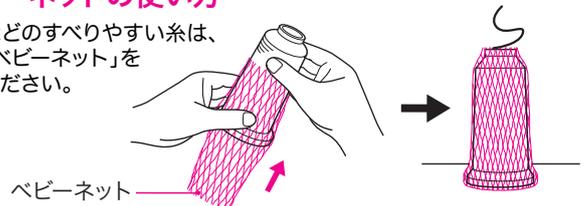
3) 糸のセット

テロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、穴糸、金糸など市販されているほとんどの糸を使用することができます。(P9参照)



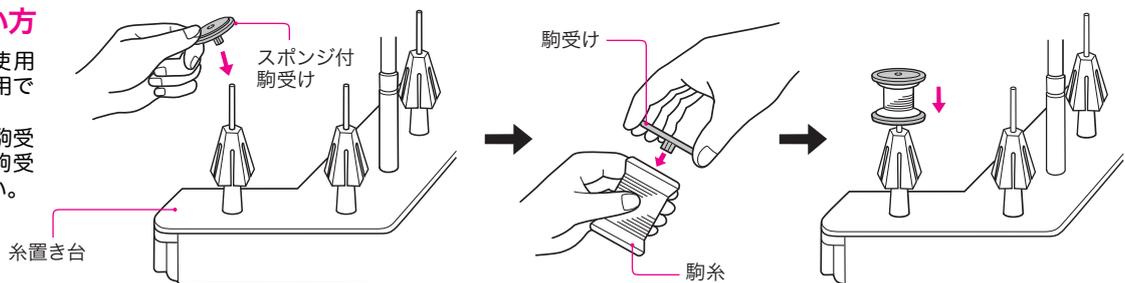
● ベビーネットの使い方

化繊糸などのすべりやすい糸は、付属の「ベビーネット」をご使用ください。



● 駒受けの使い方

普通はロック糸を使用しますが、駒糸も使用できます。その場合は付属の「駒受け」と「スポンジ付駒受け」をご使用ください。



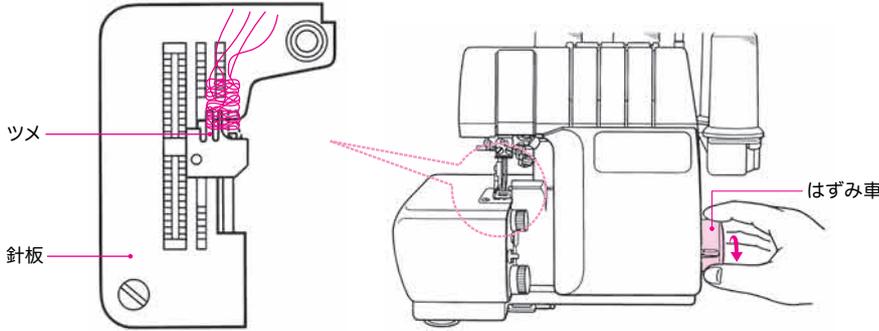


ケガをする
恐れが
あります。
注意

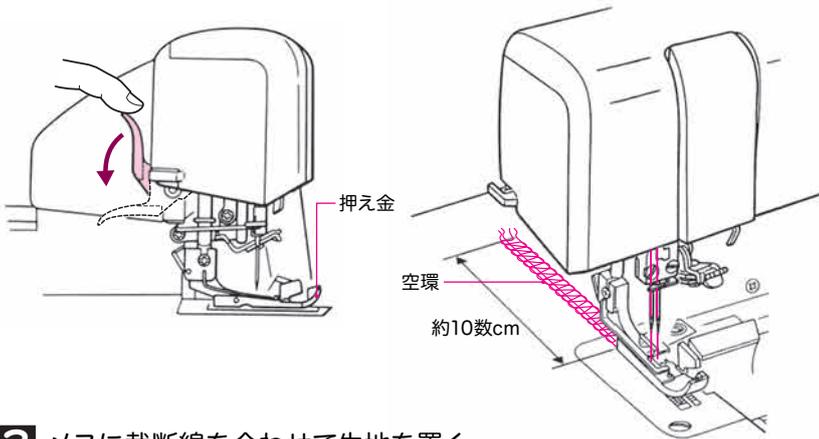
針・ルーパー・メスの動く
範囲に指や手を持って
いかないでください。

縫い始め

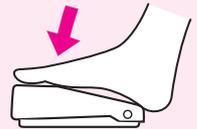
1 「はずみ車」を手前方向に手で数回まわし、針板のツメに糸がからんでいることを確認する。



2 押え金が下りていることを確認し、コントローラーを軽く踏んで「空環」を約10数cm出しておく。



コントローラー

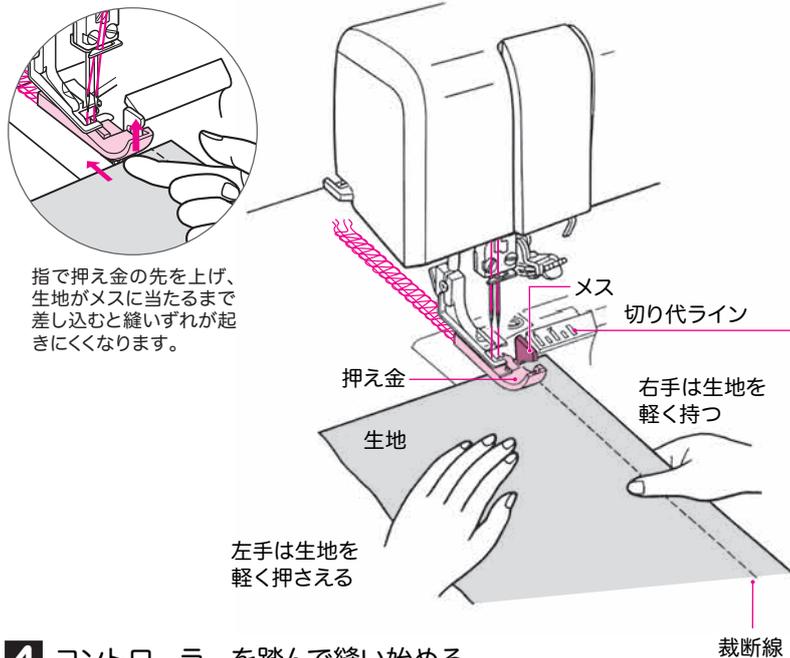


スピードの調節

強く踏むと早く、
弱く踏むと遅くなります。

3 メスに裁断線を合わせて生地を置く。

このとき押え金を上げる必要はありません。
縫い始めると、生地は押え金の下へ自然と入っていきます。



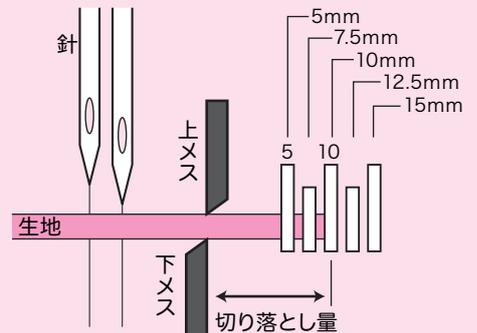
指で押え金の先を上げ、
生地がメスに当たるまで
差し込むと縫いずれが起
きにくくなります。

左手は生地を
軽く押さえる

右手は生地を
軽く持つ

切り代ラインの使い方

切り代ラインはメスで切り落とす生地量の目安です。
生地端を5の線に合わせて約5mm切り落とし、
10の線に合わせて約10mm切り落とします。



切り代ラインは目安ですので、正確を要する場合はチャコペン等で生地に裁断線を記入してから縫う事をお勧めします。

ワンポイント

生地によっては、バイヤスやカーブを縫うときに生地
がはずれやすい場合があります。そのようなときは
以下のことをお試しください。

- ①メスから針落ち位置の間で生地が直線になるように手で補助します。
- ②かがり幅を広くします。

初心者にお勧め!

★メスを使わないで縫う

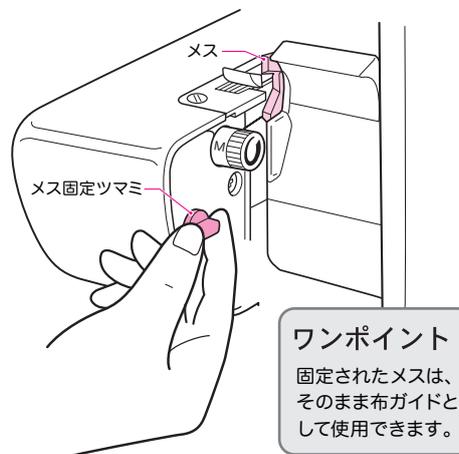
厚地を縫う場合や何枚も重ねて縫う場合は、仕上り線まで裁っておいてから、メスを使わずに縫うとスムーズに縫うことができます。

また失敗したときでも、切っていないので、もう一度ほどいてやり直すことができます。

(糸のほどき方はP28参照)

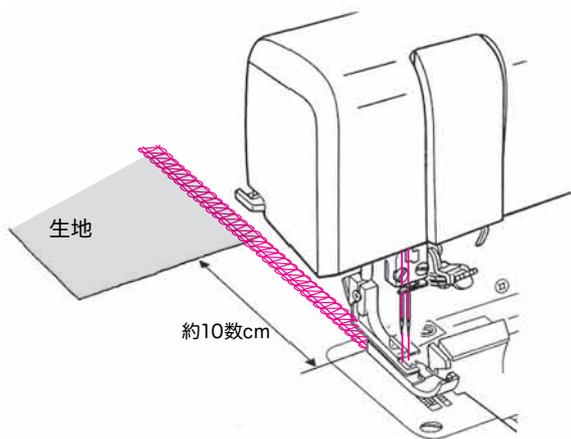
メスの固定

ピンタックや飾りステッチなど、メスで布地を切らないで縫う場合は、メス固定つまみを【LOCK (固定)】側に回転させてください。メスが動かなくなります。

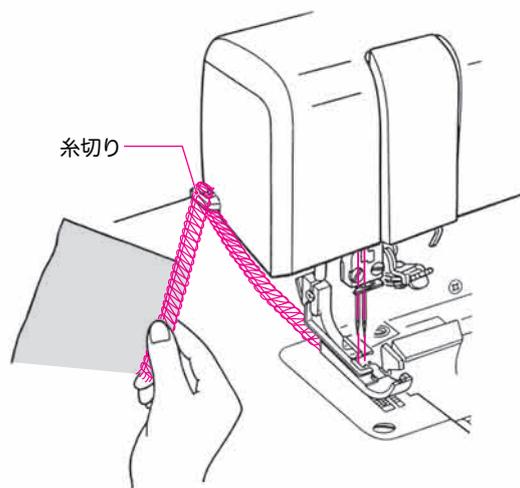


縫い終わり

1 生地を縫い終わったら、そのまま空縫いをし、
「空環」を約10数cm出しておく。

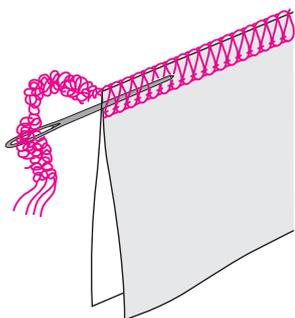


2 最後に「糸切り」で「空環」を切る。

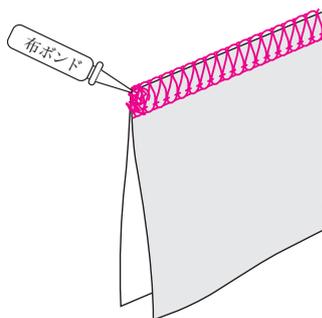


「空環」の始末

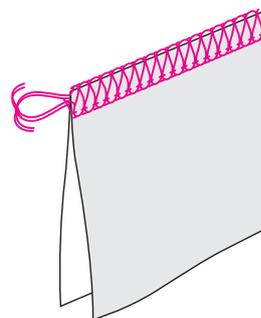
縫い終わった後、「空環」は右のような方法等で始末します。



●とじ針で裏の縫い目に通します。



●「空環」を布端で切って布ボンドで固めます。



●「空環」の糸をほぐして結びます。

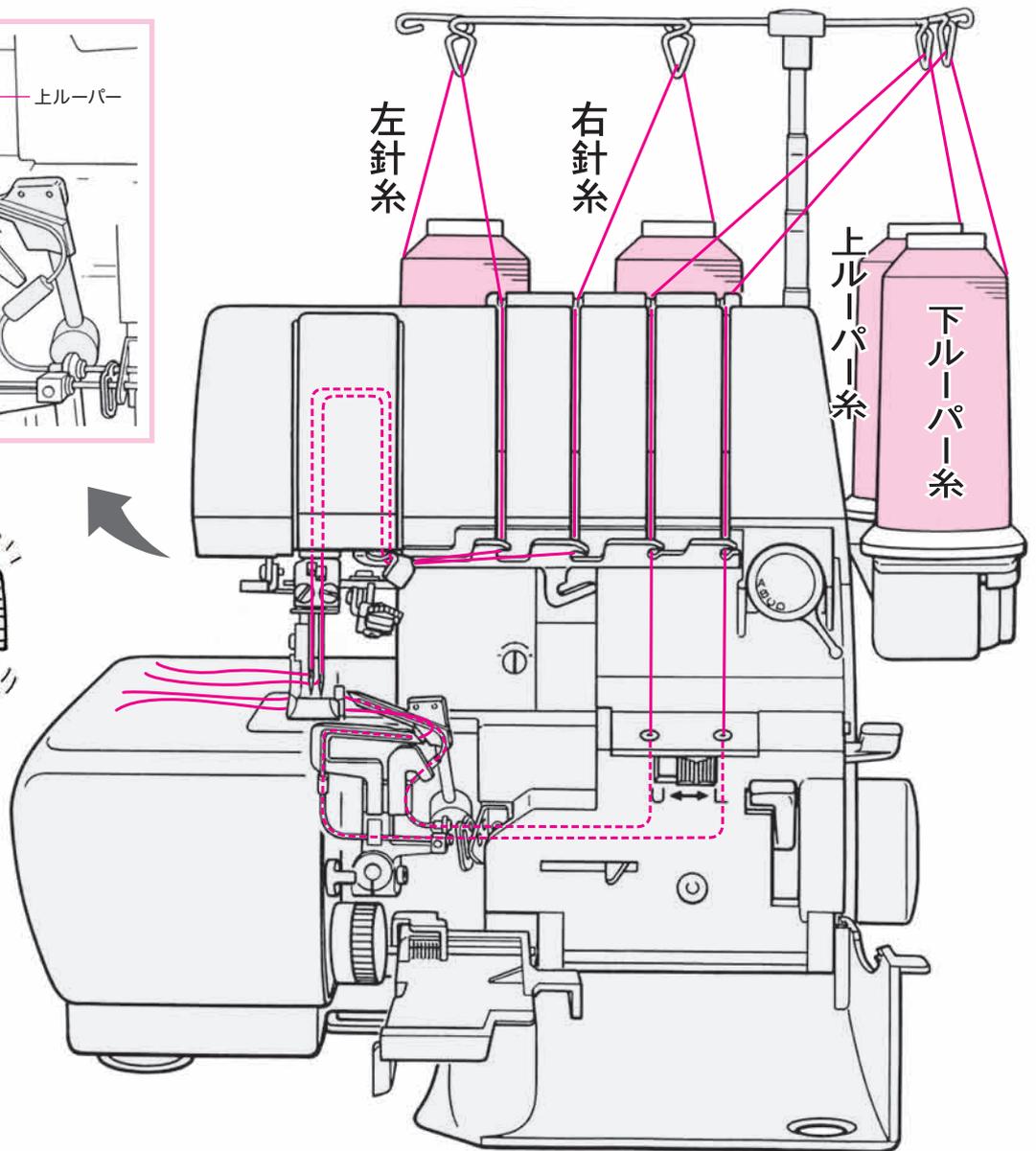
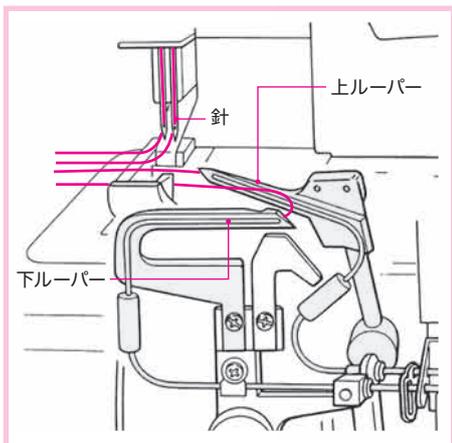
4 糸かけ

糸かけ全体図

- ◆上/下ルーパー糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(右ページ参照)
- ◆ラクスルー(自動針糸通し)を使って、針穴に糸を通す場合は必ず「はずみ車の緑の指針を合わせて」ください。(P13参照)

どの糸からかけてもかまいません。
糸が切れた場合は、その切れた糸だけをかけ直してください。

※糸かけをするときはまず押え金を上げます。
糸をかけ終わったら押え金を下げてください。



⚠ 注意 ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

□使用する糸について

ルーパー糸には、テトロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、金糸、極細毛糸など、糸道のパイプに無理なく入る糸であれば、市販されているほとんどの糸を使用することができます。
針糸には、通常スパン糸が使用されます。
また普通ミシンと違い、伸縮性のあるニット地等を縫う場合でも、水着やレオタードなどの特別な場合を除き、レジロン等の伸縮性のある糸を使う必要はありません。

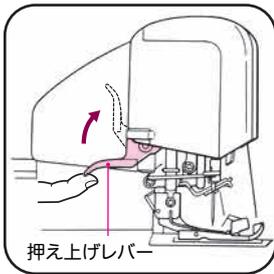
※古い糸や粗悪な糸を使用すると、糸切れや目飛び、糸調子の乱れの原因になりますので、使用しないでください。

ルーパーの糸かけをするときは**エアスルーシステム(自動エア糸通し)**を使います。エアスルーシステムは、まず下記の「**はずみ車の固定**」を行ってください。また、ルーパーの糸かけが終わったら忘れずに「**固定の解除**」を行ってください。

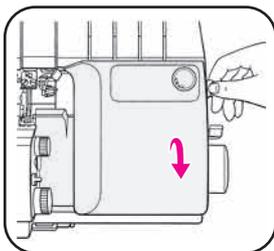
ルーパーの糸かけの準備

●はずみ車の固定

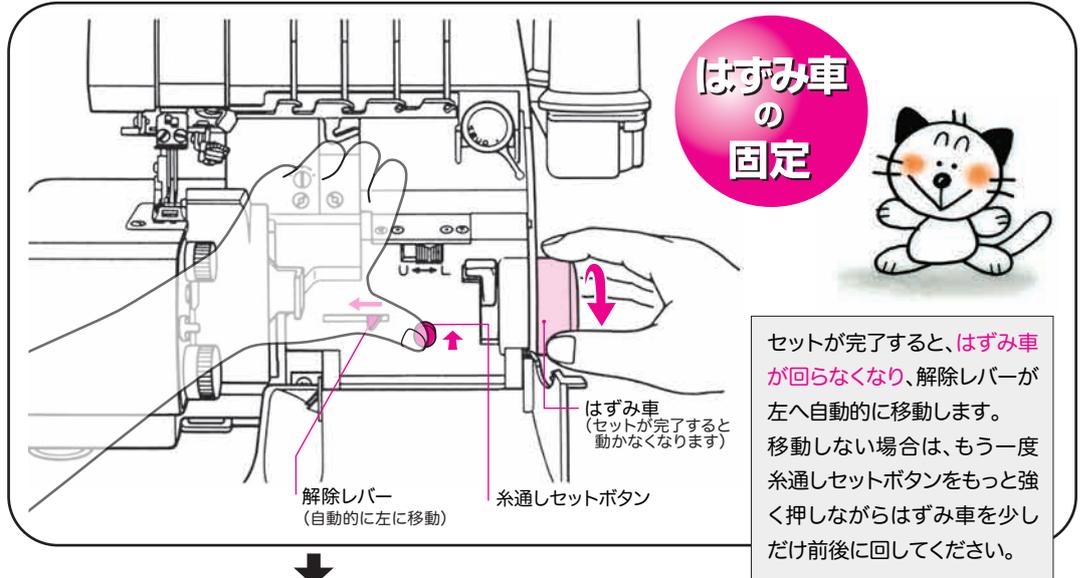
1 押え上げレバーで押え金を上げる。



2 フロントカバーを開ける。



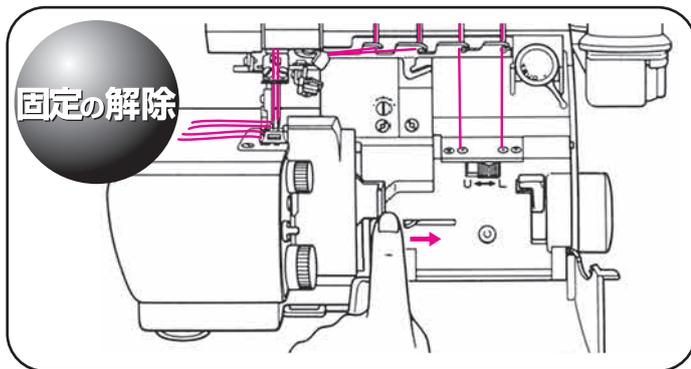
3 糸通しセットボタンを押しながら「カチッ」と音がするまではずみ車を回す。



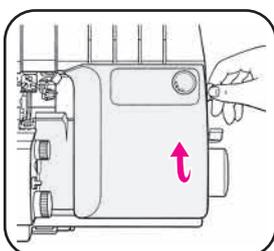
P11およびP12にしたがってルーパー糸をかける

ルーパーの糸かけが終わったら

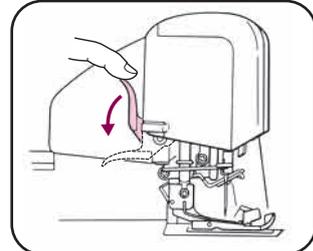
1 解除レバーを右にスライドさせる。



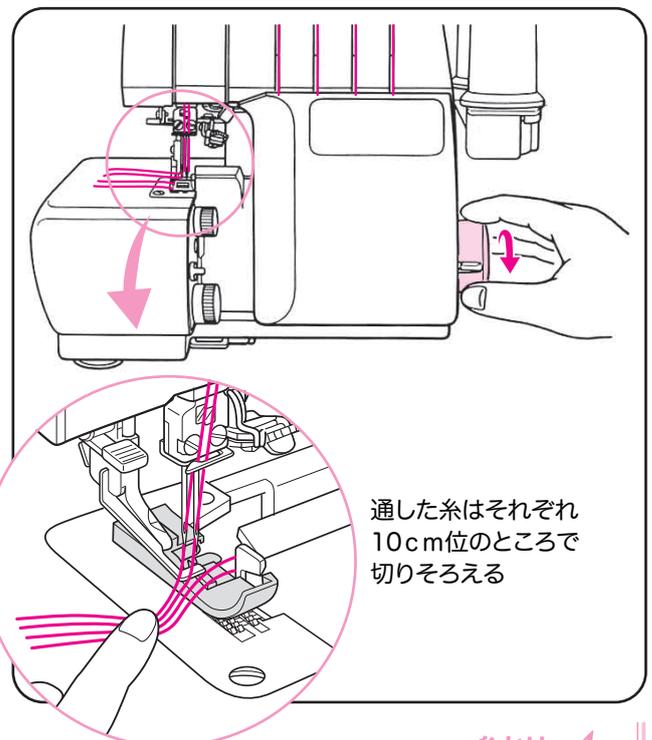
2 フロントカバーを閉める。



3 押え上げレバーで押え金を上げる。

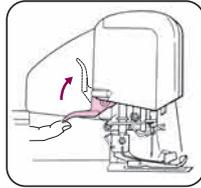


4 最後に4本の糸を軽く押え、はずみ車を数回まわして、空環がうまくできるか確認する。

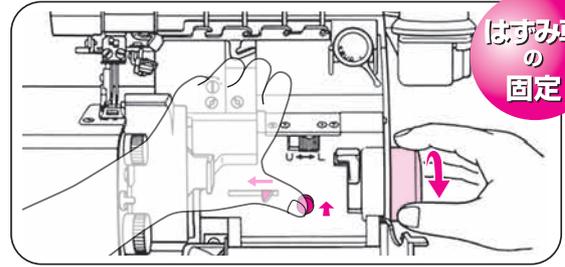


下ルーパー糸

1 押え金を上げる。



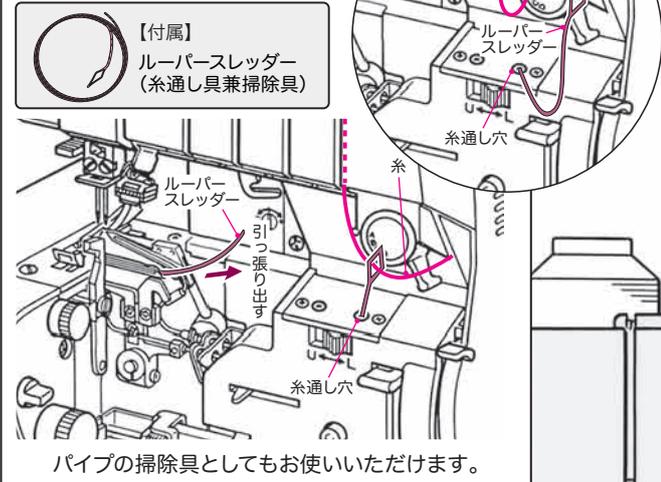
2 「はずみ車の固定」をする。(P10参照) **重要**



はずみ車の固定

3 番号にしたがって糸をかけていく。

ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利!



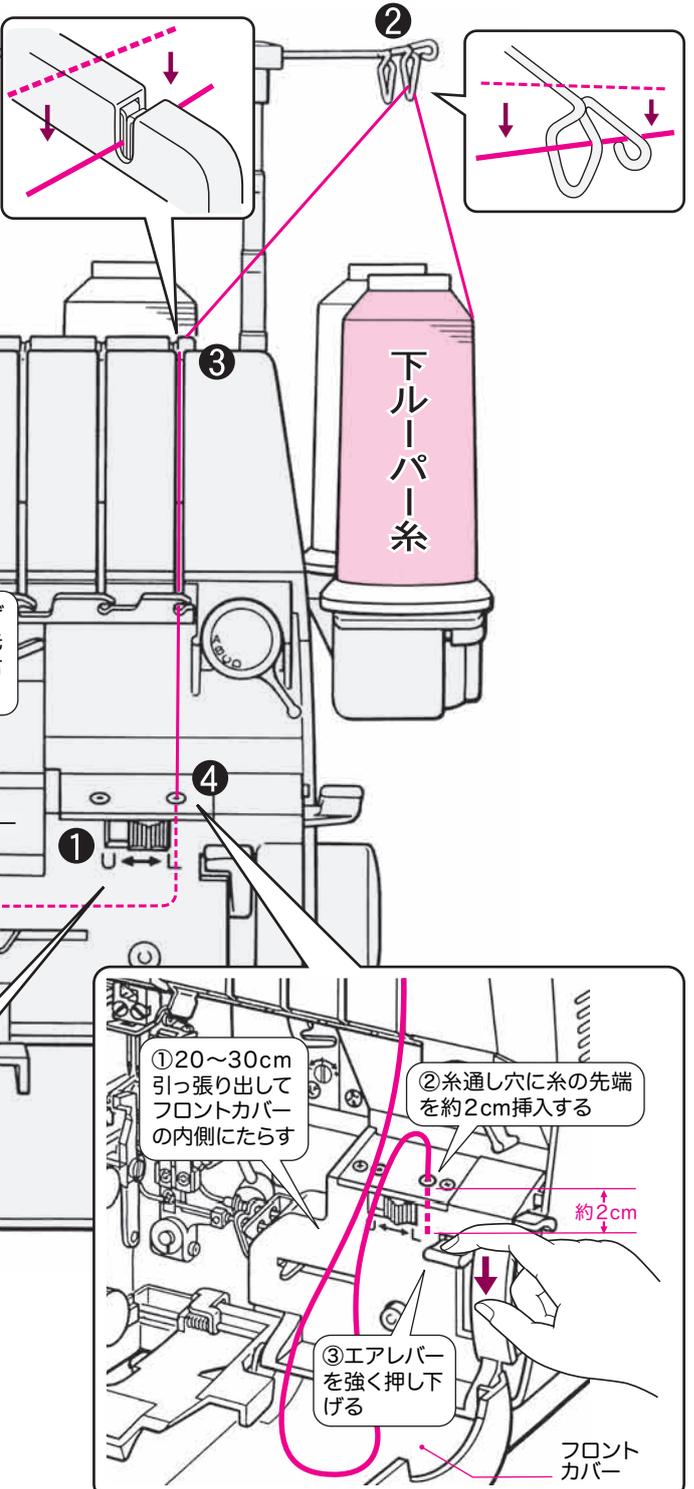
【付属】
ルーパースレッダー
(糸通し具兼掃除具)

パイプの掃除具としてもお使いいただけます。



最後に糸は押え金の上を通って左方向に持っていきます

エアレバーを押し下げると「下ルーパーの先端」から糸が勢いよく右方向へ飛び出します。



下ルーパー糸

① 20~30cm 引っ張り出してフロントカバーの内側にたらす

② 糸通し穴に糸の先端を約2cm挿入する

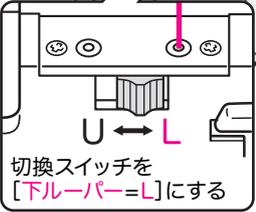
約2cm

③ エアレバーを強く押し下げる

フロントカバー

ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押し下げる糸は通りません。

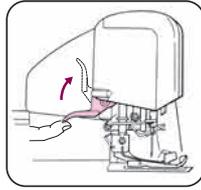


切換スイッチを「下ルーパー=L」にする

4 「固定の解除」(P10)をしてから縫い始める **重要**

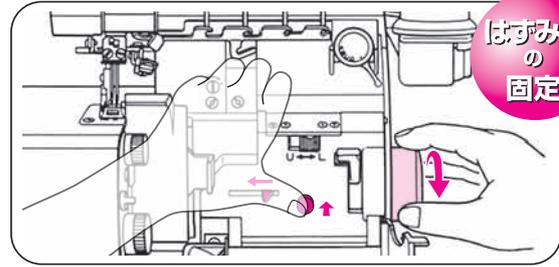
上ルーパー糸

1 押え金を上げる。



2 「はずみ車の固定」をする。(P10参照)

重要



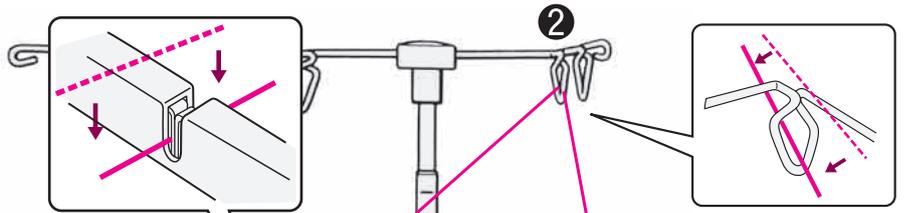
はずみ車の固定

3 番号にしたがって糸をかけていく。

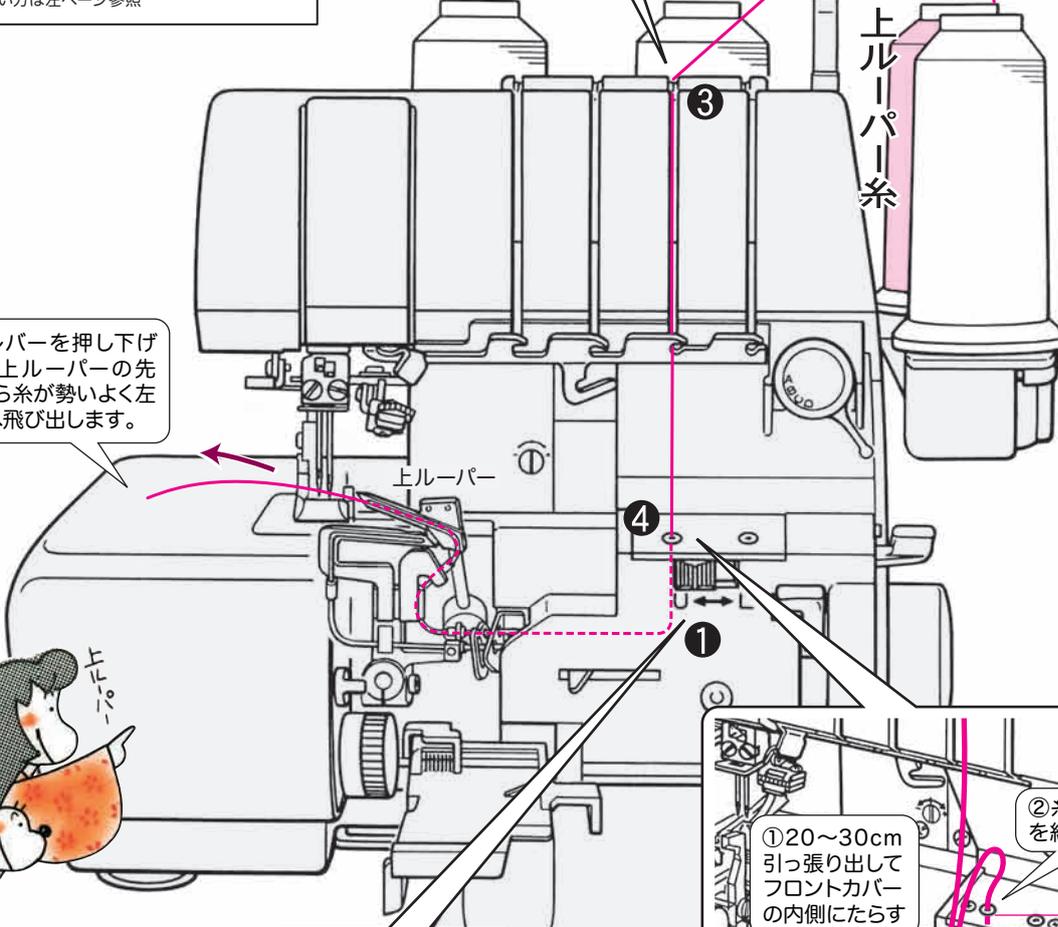
ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利!



※使い方は左ページ参照

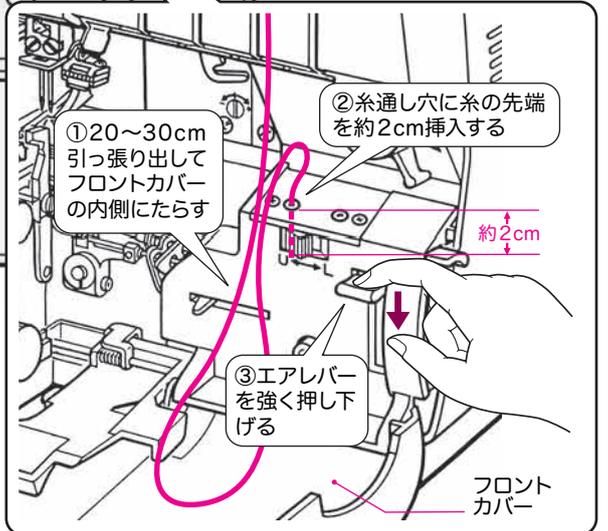
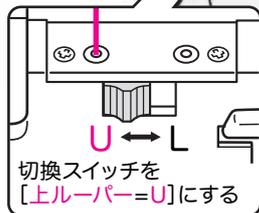


エアレバーを押し下げると「上ルーパーの先端」から糸が勢よく左方向へ飛び出します。



ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押し下げる糸は通りません。



① 20~30cm 引っ張り出してフロントカバーの内側にたらす

② 糸通し穴に糸の先端を約2cm挿入する

約2cm

③ エアレバーを強く押し下げる

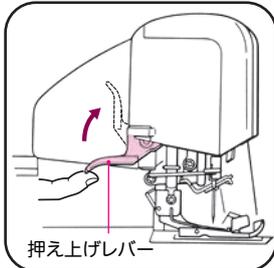
フロントカバー

4 「固定の解除」(P10)をしてから縫い始める

重要

針糸

1 押え上げレバーで押え金を上げる。

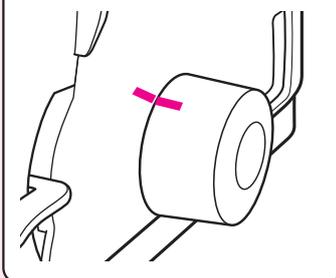


2 番号にしたがって糸を掛けていく。

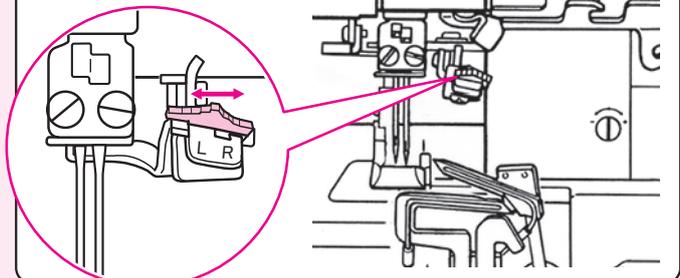
⑤⑤

ラクスルー (自動針糸通し)の 使い方

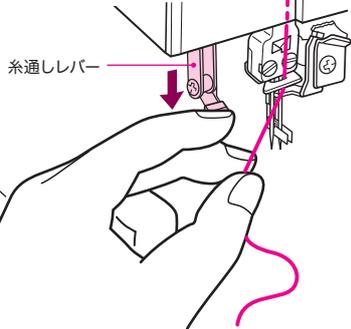
(1) はずみ車の緑の指針を合わせる **重要**



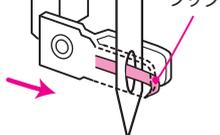
(2) 左右切換スイッチでR(右針) またはL(左針)を選ぶ



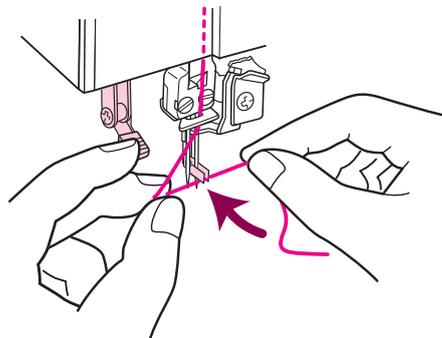
(3) 糸通しレバーを下げる



フックが針穴に通る

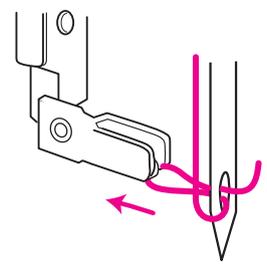


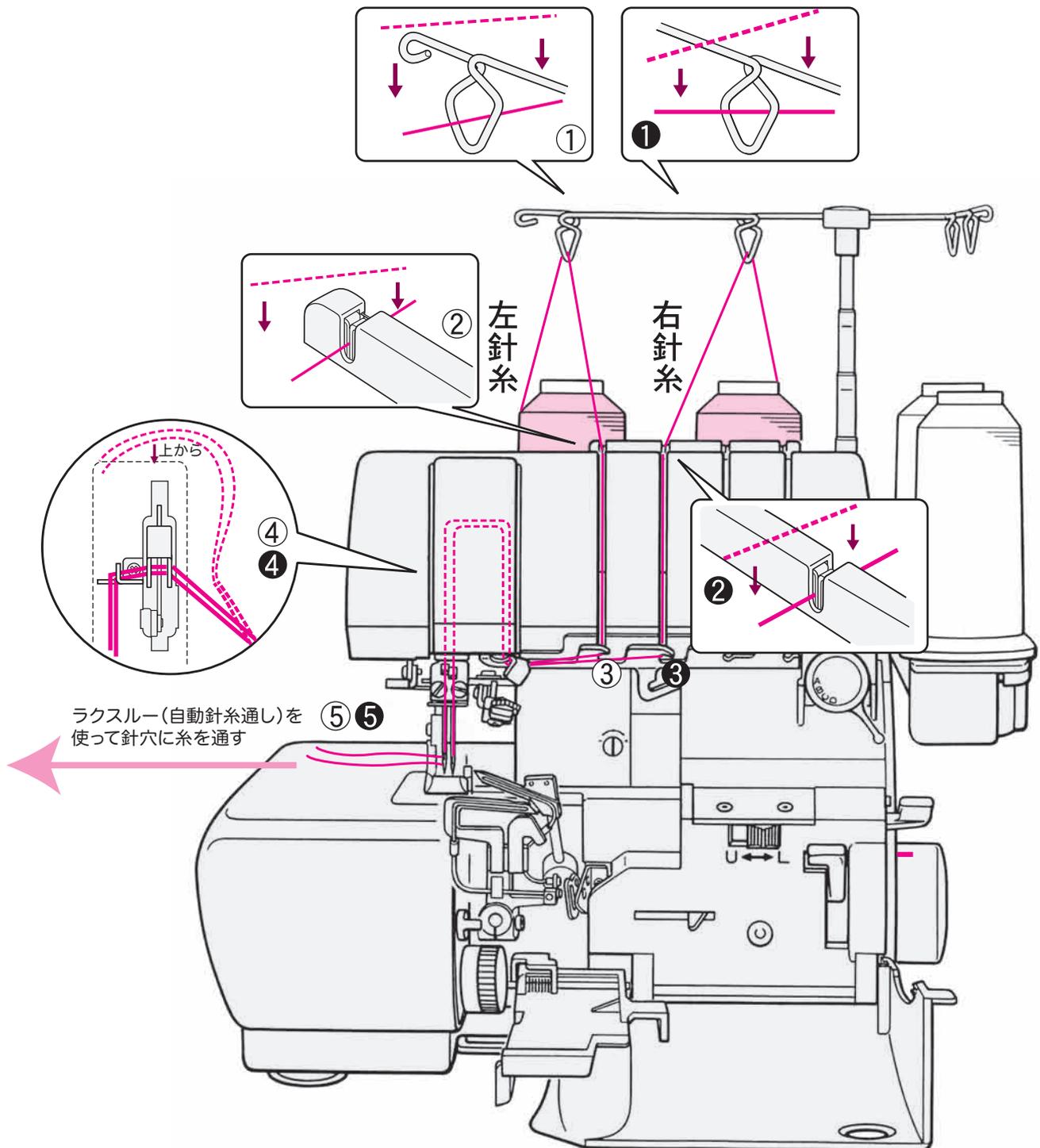
(4) 右指で糸を張り、ガイドに糸を下からひっかける



ガイド

(5) 糸通しレバーをゆっくり戻すとフックが糸をひっかけて針穴に通します





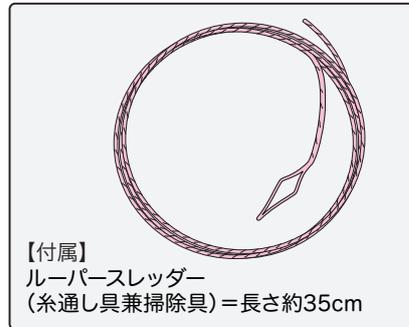
3 「固定の解除」(P10)をしてから縫い始める **重要**

太い糸のかけ方

極細毛糸や刺しゅう糸など

【エアスルーパイプを通さない糸のかけ方】

飾り糸として使われるような太い糸や飾り糸を、ルーパー糸として使用したい場合は、エアスルーシステム(自動エア糸通し)のパイプに入らない場合があります。そのような時は下記のように付属の「ルーパースレッダー」を使用して糸を通してください。

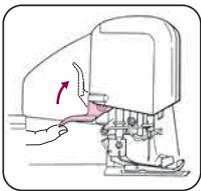


ルーパー糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P10参照)

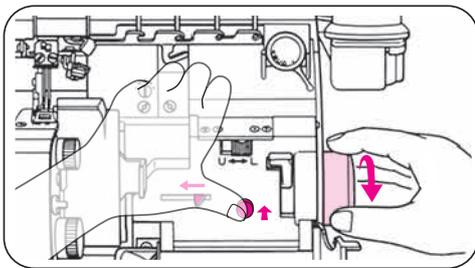
重要

はずみ車の
固定

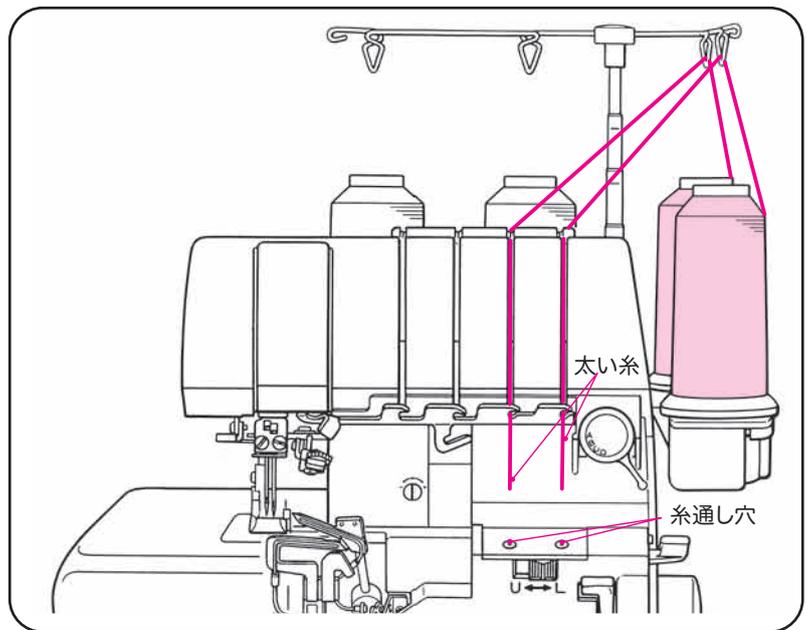
① 押え金を上げる。



② 「はずみ車の固定」をする。

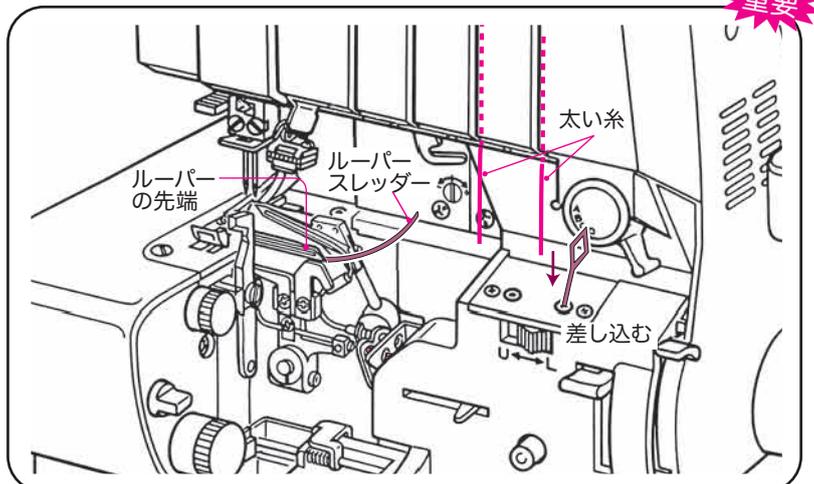


① 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。(P11、12参照)

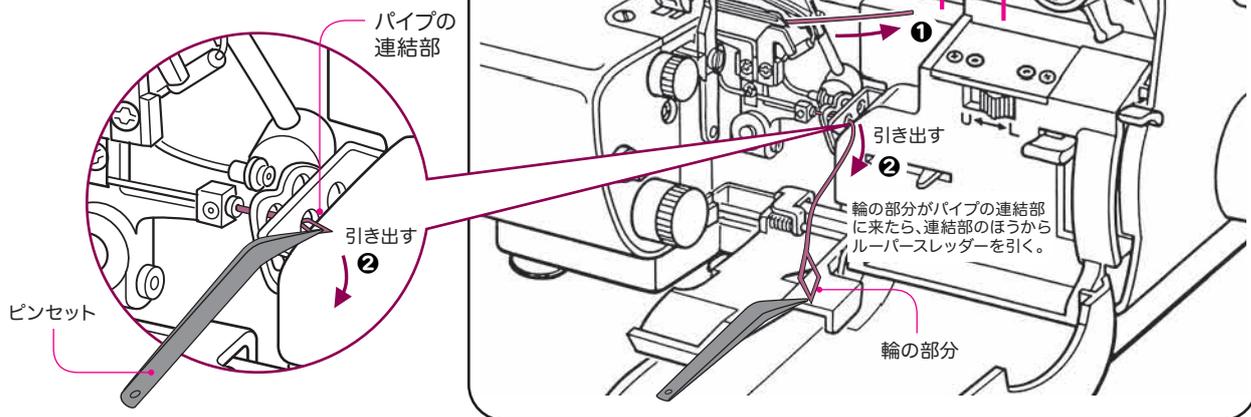


② ルーパースレッダーを糸通し穴から差し込み、ルーパーの先端から少し出しておく。その後、「固定の解除」を行う(P10参照)

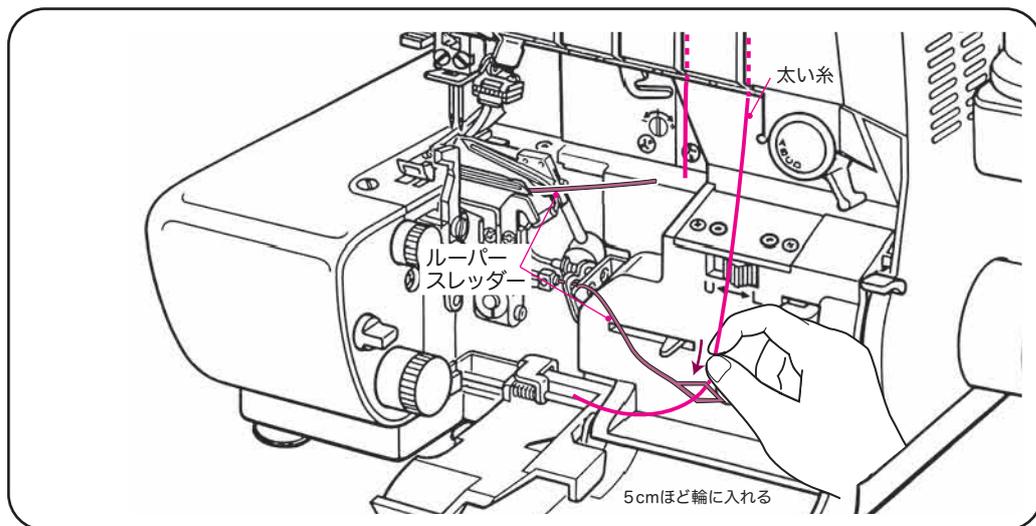
重要



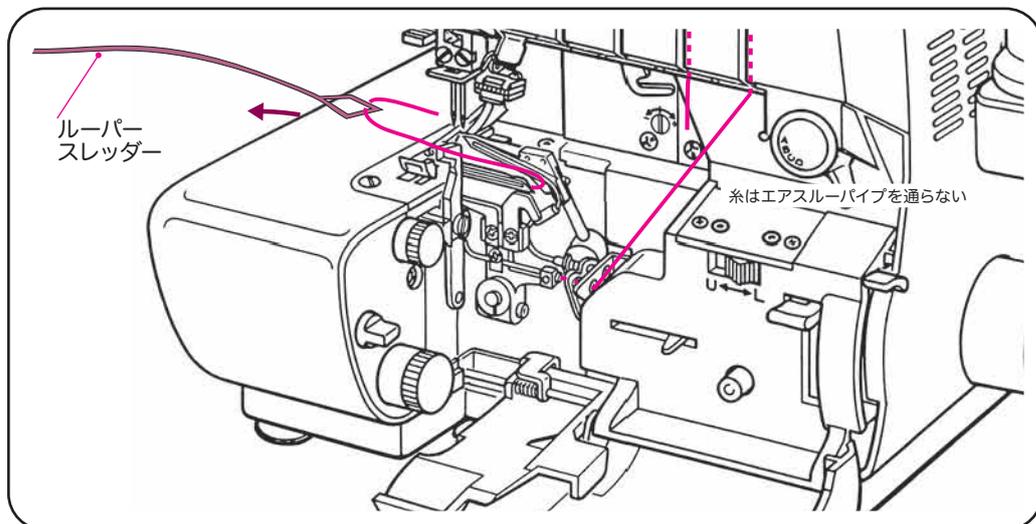
- 3** いったんルーパーの先端からルーパースレッダーを引き、ルーパースレッダーの輪の部分がパイプの連結部に来たら、逆に連結部のほうからピンセットで輪の部分を少し引っ張り出す。



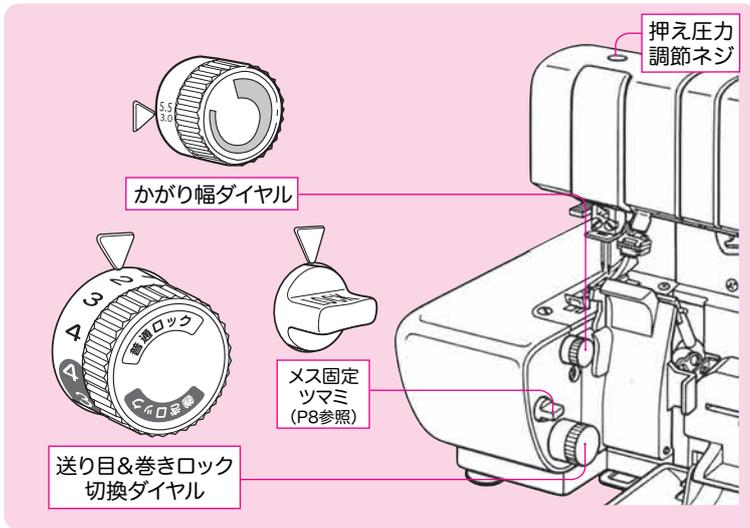
- 4** ルーパースレッダーの輪の部分に太い糸を5cmほど入れる。



- 5** 再びルーパースレッダーをルーパーの先端から引き出します。



押え圧力、かがり幅、送り目の調節



押え圧力の調節

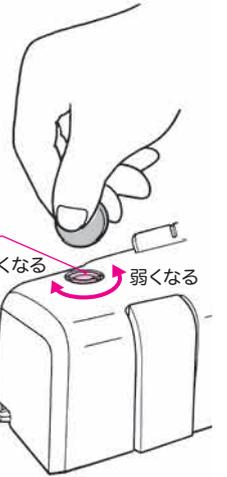
滑りやすい生地や厚い生地を何枚も重ねて縫う場合など、押え圧力を調節したほうが縫いやすい場合があります。

コインなどで「押え圧力調節ネジ」を回して調節してください。

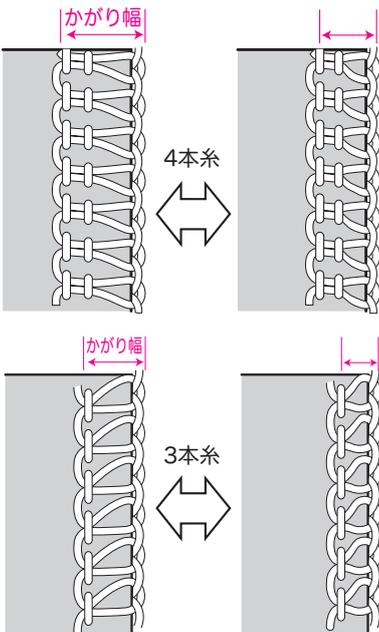
押え圧力調節ネジ

強くなる ← → 弱くなる

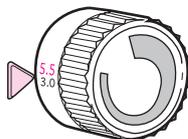
このミシンは、工場出荷時にほとんどの生地に合うように調節されていますので、普段はあまり調節する必要はありません。



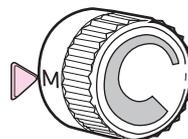
かがり幅の調節



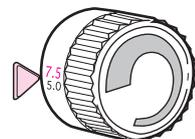
4本糸および左針を使用した時の3本糸 (上段の大きい数値で合わせます)



5.5mm幅

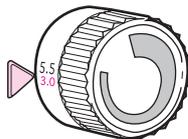


6.0mm幅

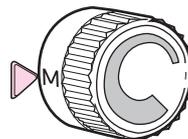


7.5mm幅

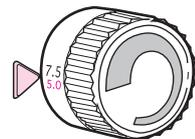
右針を使用した時の3本糸 (下段の小さい数値で合わせます)



3.0mm幅

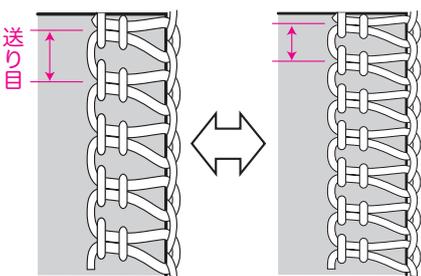


3.5mm幅



5.0mm幅

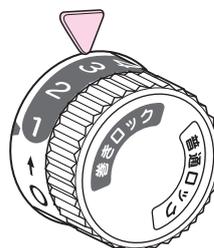
送り目の調節



「送り目&巻きロック切換ダイヤル」を回して、普通ロック・巻きロックともに0.75 ~ 4 mmの範囲で調節できます。



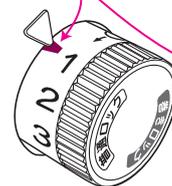
普通ロック側



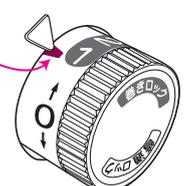
巻きロック側

ワンポイント

この ■ 位置は0.75mmを示します。



普通ロック

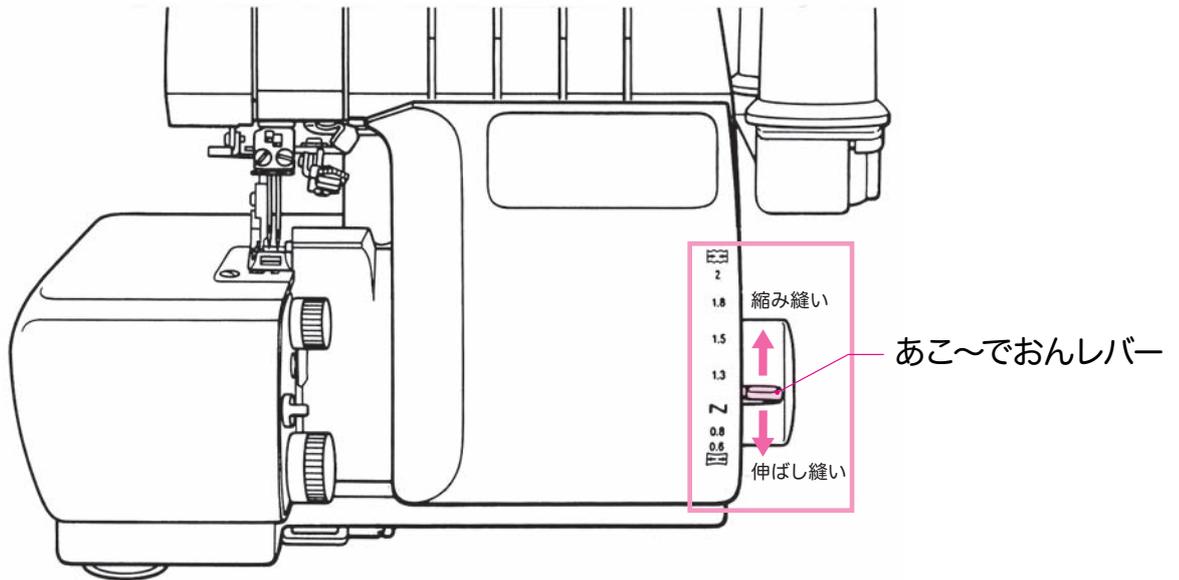


巻きロック

6

あこ〜でおん(差動)レバー

伸びやすいニットやジャージー、トリコットなどの生地や、逆に裏地のような縮みやすい生地を縫う場合は「あこ〜でおん(差動)レバー」を使うと、平らにきれいに仕上げることができます。さらにギャザーを寄せたり、フレアスカートへのムのいせ込みの際に使用すると、とても便利です。



	伸びやすい生地		縮みやすい生地
生地	ニット地、ジャージ、メリヤス、 その他バイヤス部分等	織布	ジョーゼット、サテン、 リネン、ローン等
あこ〜でおん レバー	N → 1.3 ~ 2	N	N → 0.6 ~ 0.8
あこ〜でおん 使用前後の縫い目比較			

【ギャザーの寄せ方】

ギャザーを寄せながら縫うことができます。

- ・あこ〜でおんレバーを[2]にします。
※必要に応じて1.3~2の間で調整してください。
- ・送り目調節ダイヤルを[4]に合わせます。



付属の「バルキー押え」を使用するとさらに縮み量が大きくなります。(P25参照)



バルキー押え

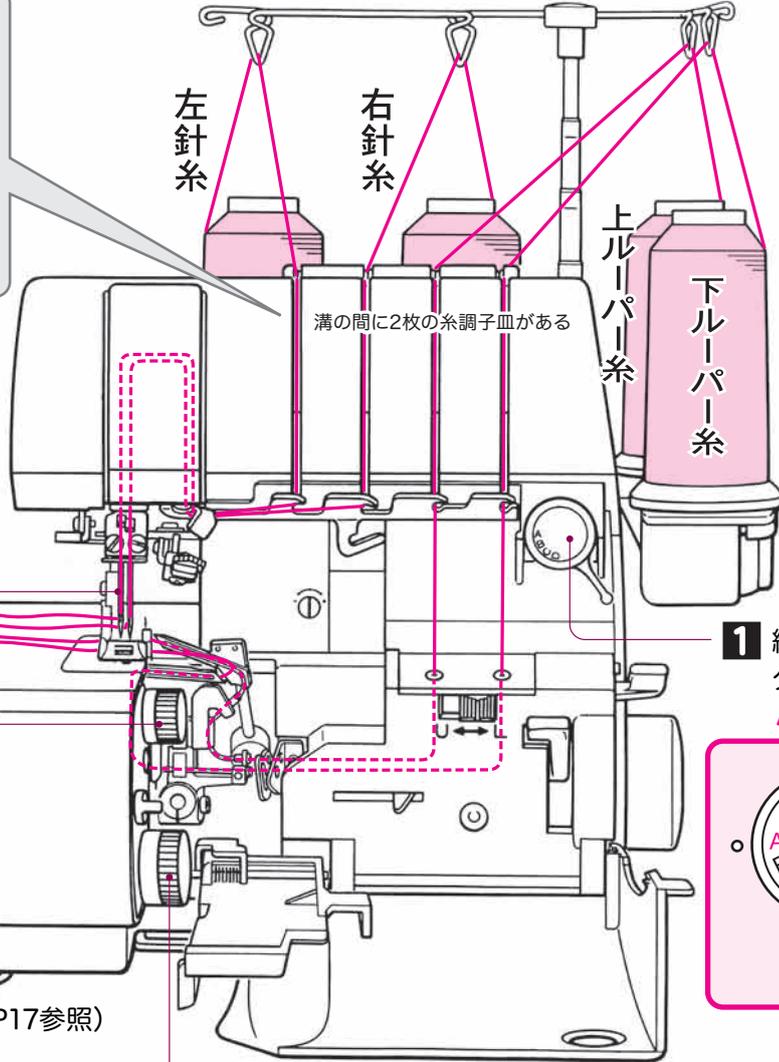
4本糸・3本糸・巻きロックへの切換

このミシンは A. 2本針4本糸ロック、B. 1本針3本糸ロック、C. 標準巻きロック、D. 変形巻きロックの4種類の基本縫いを、面倒な調節なしで簡単に切り替えることができます。

2本針4本糸ロック(A)

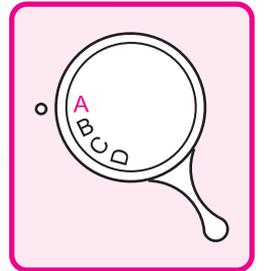
ワンポイント

縫い目がきれいにできない場合は、溝の間にある2枚の糸調子皿から、糸がはずれていることがあります。この2枚の皿で糸をはさみ、縫い目を整えていますが、ここから糸がはずれるときれいな縫い目になりません。押え上げレバーを上げると、この皿が開くので、もう一度溝に糸を入れ直してください。入れ直した後、押え上げレバーを下げることを忘れないで！

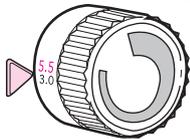


2 2本針にする。

1 縫い目切換ダイヤルをAに合わせる。

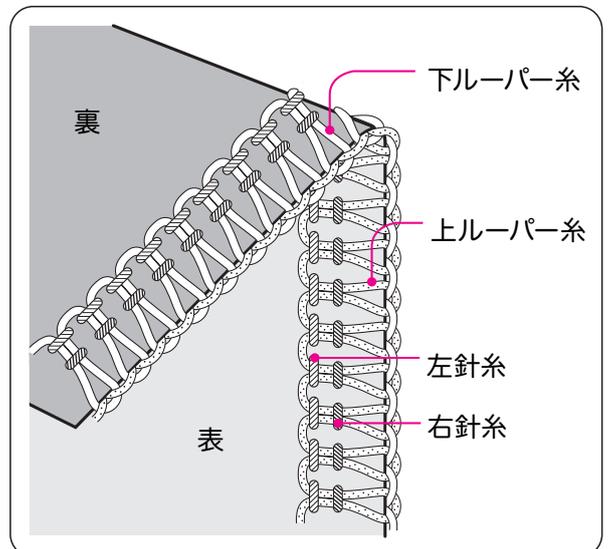


3 かがり幅ダイヤルを合わせる。(P17参照)
【上段の数字で合わせる】
(生地の種類や好みによって)



4 送り目&巻きロック切換ダイヤルを「普通ロック」側の数字0.75~4に合わせる。(P17参照)
(生地の種類や好みによって)

※ **■** の印は0.75



1本針3本糸ロック(B)

右針または左針のどちらかを取りはずすだけで、3本糸縫いができます。ピンタックや空環ブレードのほか、【巻きロック(21・22ページ参照)】も、通常はこの1本針3本糸で縫います。

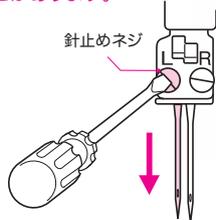
■右針を使用する場合=かがり幅が3.0~5.0mm
使用糸：右針糸・上ルーパー糸・下ルーパー糸

■左針を使用する場合=かがり幅が5.5~7.5mm
使用糸：左針糸・上ルーパー糸・下ルーパー糸

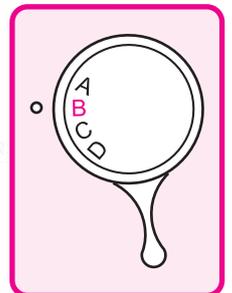
2 右針または左針の「針止めネジ」をゆるめて針を1本はずす。(P23参照)

【通常は右針を使用しますが、左針を使用する場合は切換ダイヤルをAに合わせます】

注 針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない糸も取り除いて下さい。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。



1 縫い目切換ダイヤルをBに合わせる。

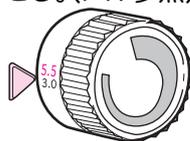


3 かがり幅ダイヤルを合わせる。(P17参照)

【右針使用の場合は下段の数字で合わせる】

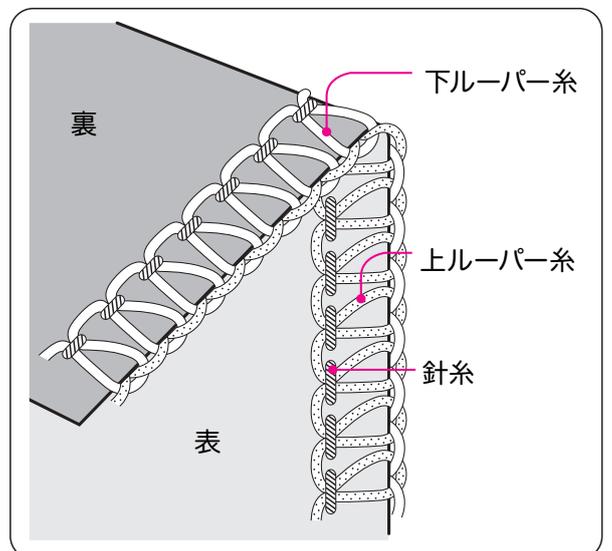
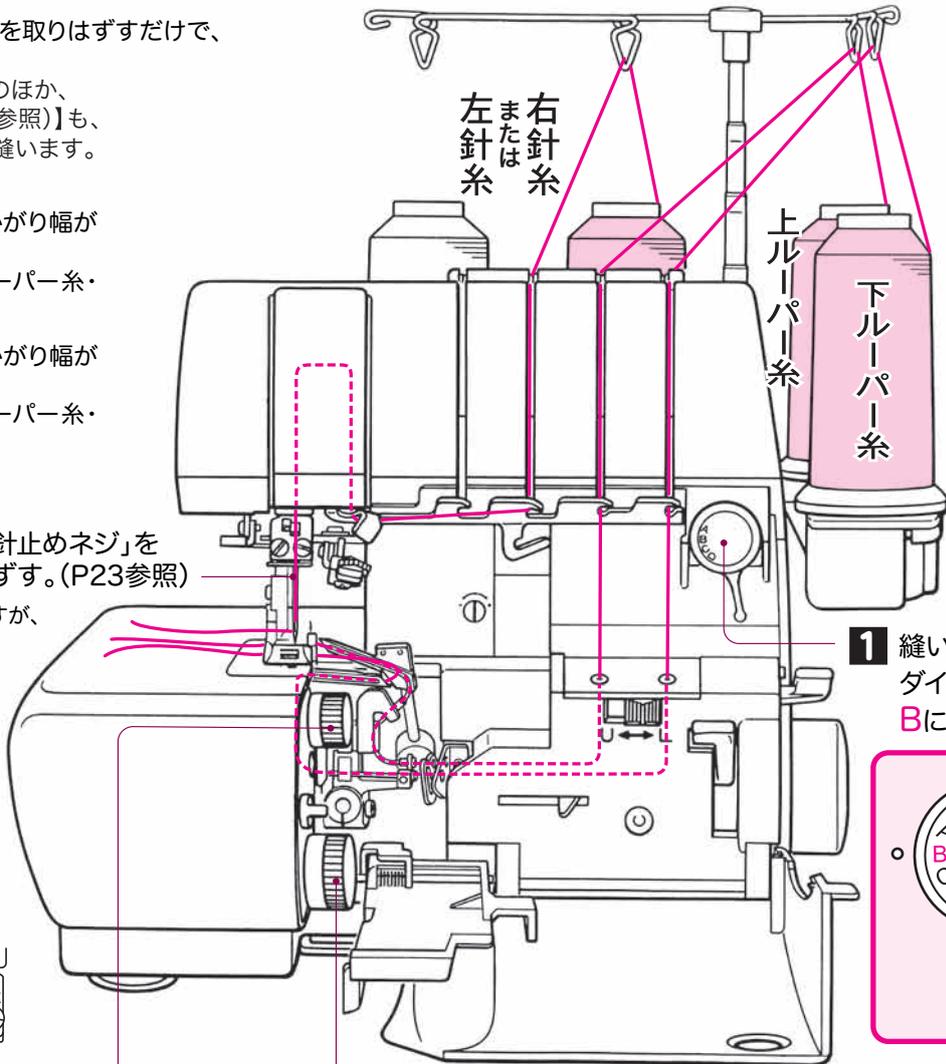
【左針使用の場合は上段の数字で合わせる】

(生地の種類や好みによって)



4 送り目&巻きロック切換ダイヤルを「普通ロック」側の数字0.75~4に合わせる。(P17参照)
(生地の種類や好みによって)

※ ■ の印は0.75



4本糸・3本糸・巻きロックへの切換

巻きロックには、「標準巻きロック」と「変形巻きロック」があります。
オーガンジーやジョーゼットなどの薄地の装飾的なかがり縫いに使用します。

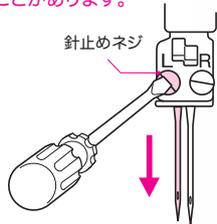
標準巻きロック(C)

布端をひと折りしながら、細かがりますが、縫い目の形状は普通ロックと同じです。
かがりの厚みを出さず、きれいなシルエットに仕上げることができます。
糸は通常#80～#100の細い糸を使用します。

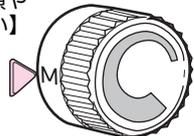


- 2** 左針の「針止めネジ」をゆるめて針を1本はずす。(P23参照)

注 針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない左針糸も取り除いて下さい。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になります。

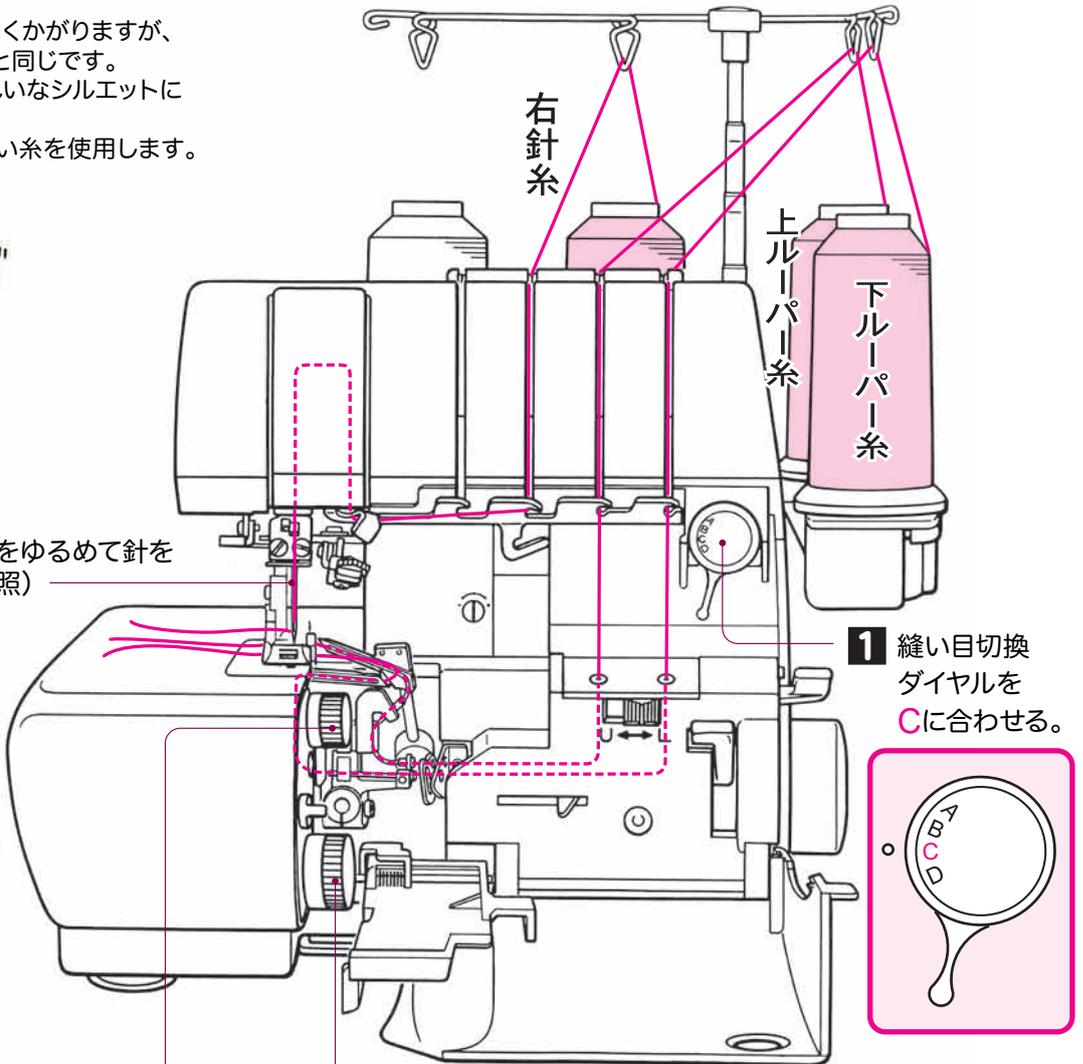
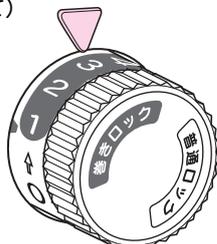


- 3** かがり幅ダイヤルをMに合わせる。(P17参照)
【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】

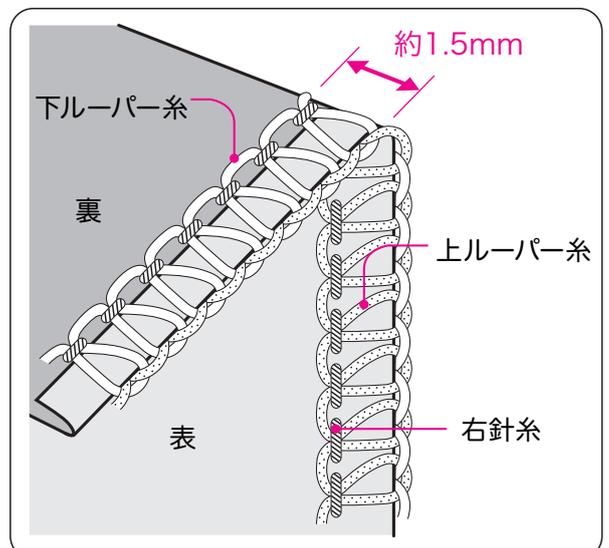
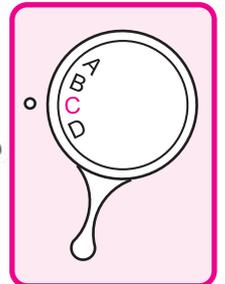


- 4** 送り目&巻きロック切替ダイヤルを「巻きロック」側の数字0.75～4に合わせる。(P17参照)
(生地の種類や好みによって)

※ ■ の印は0.75

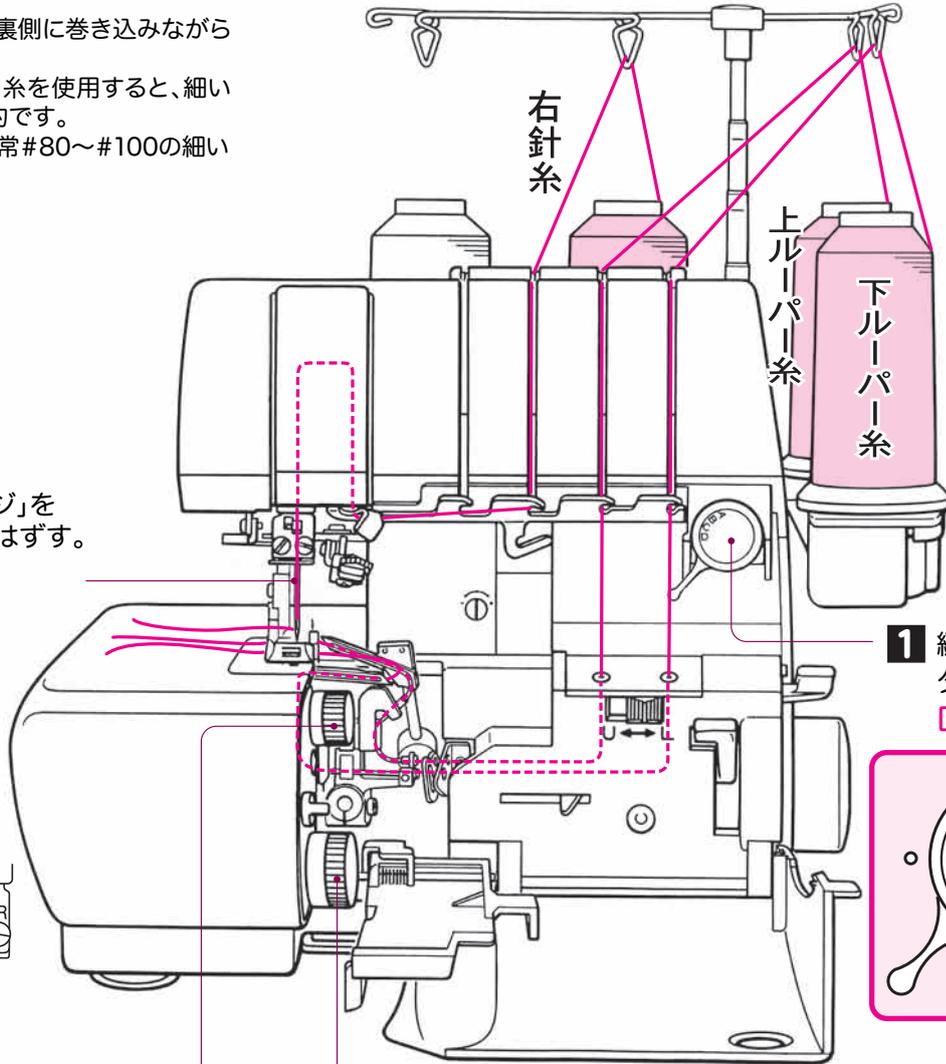


- 1** 縫い目切替ダイヤルをCに合わせる。



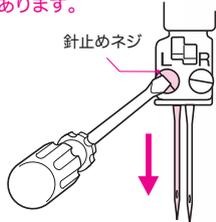
変形巻きロック(D)

上ルーパー糸が、布端を裏側に巻き込みながら細くかかります。
 上ルーパー糸にウーリー糸を使用すると、細い縫い目が強調され印象的です。
 下ルーパー糸と針糸は通常#80～#100の細い糸を使用します。

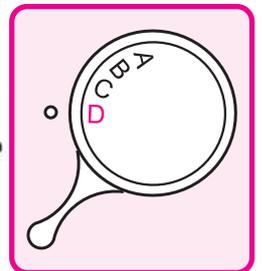


2 左針の「針止めネジ」をゆるめて針を1本はずす。(P23参照)

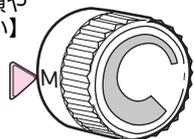
注 針を取りはずした後、必ず針止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない左針糸も取り除いて下さい。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。



1 縫い目切換ダイヤルをDに合わせる。

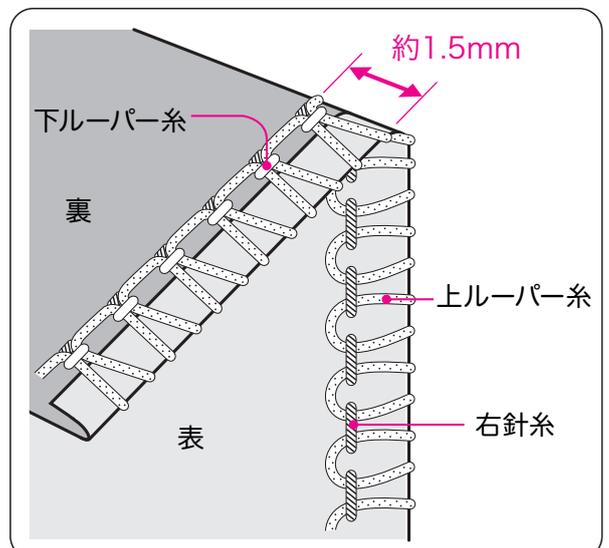
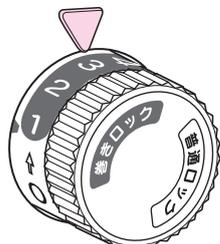


3 かがり幅ダイヤルをMに合わせる。
 【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】



4 送り目&巻きロック切替ダイヤルを「巻きロック」側の数字0.75～4に合わせる。(P17参照)
 (生地の種類や好みによって)

※ ■ の印は0.75





ケガをする
恐れが
あります。

針の交換やメスの交換、掃除をする
場合などは、必ず電源を切ってくだ
さい。通電したままだとミシンが急
に動くなど危険です。

針の交換

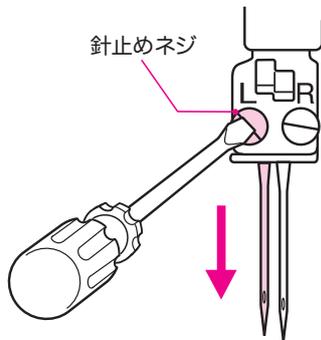
針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因になります。早めに交換してください。

このミシンの針は必ず **オルガンHA×1SP** をご使用ください。

この針以外は使用できません。ただし、特に針どおりの悪い生地を縫う場合は「オルガンHA×1」の針の使用をお勧めします。

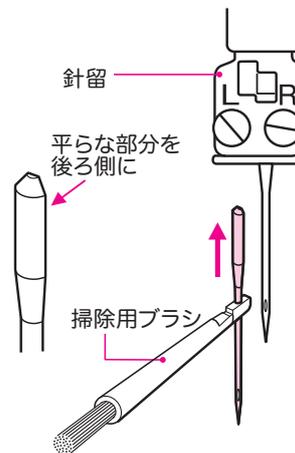
1 はずみ車を回して、針を一番上まで上げる。

2 付属のドライバーで針止めネジをゆるめて、針をはずす。

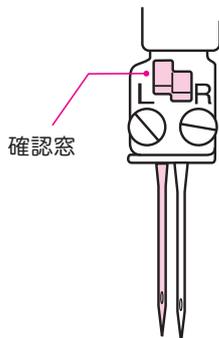


注 1本針で縫う場合は針を取りはずした後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。また、使わない糸も取り除いて下さい。かけたままだと縫製中にどこかに引っ掛かりトラブルの原因になることがあります。

3 新しい針を付属の掃除用ブラシに差し込み「針頭部の平らな面」が後ろ向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込む。

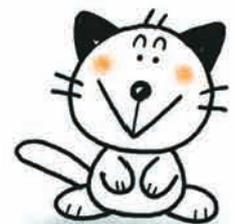
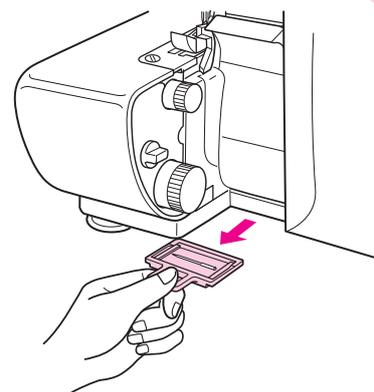


4 確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから、針止めネジをしめる。



ワンポイント

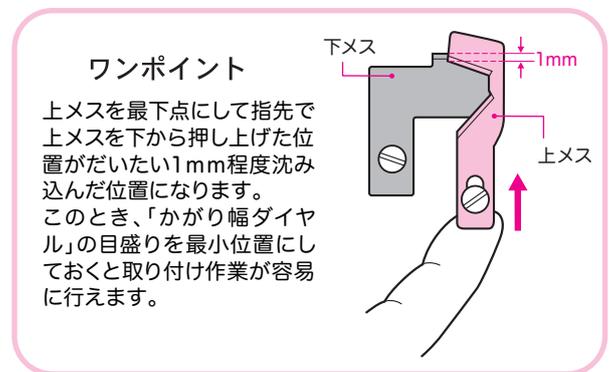
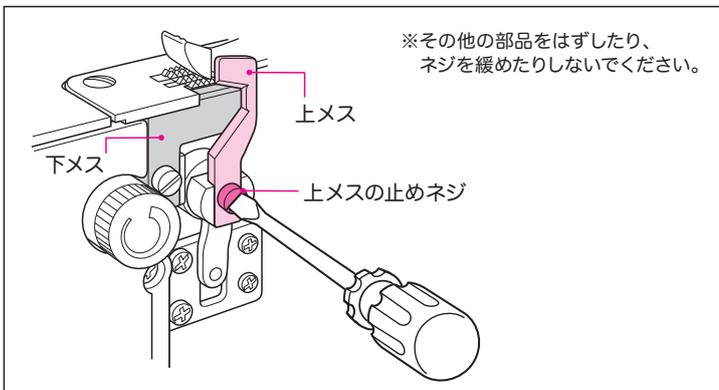
針をメスカバーの奥に落としてしまった場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。



メスの交換

メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常「上メス」を交換してください。

- 1 フロントカバーとメスカバーを開く。
- 2 はずみ車を回して、上メスを最も下に降りた地点で止める(最下点)。
- 3 上メスの止めネジをゆるめて、上メスをはずす。
- 4 新しい上メスを取り付け、下メスに対して、上メスの刃先が1mm程度沈み込んだ位置で上メス止めネジをしめる。



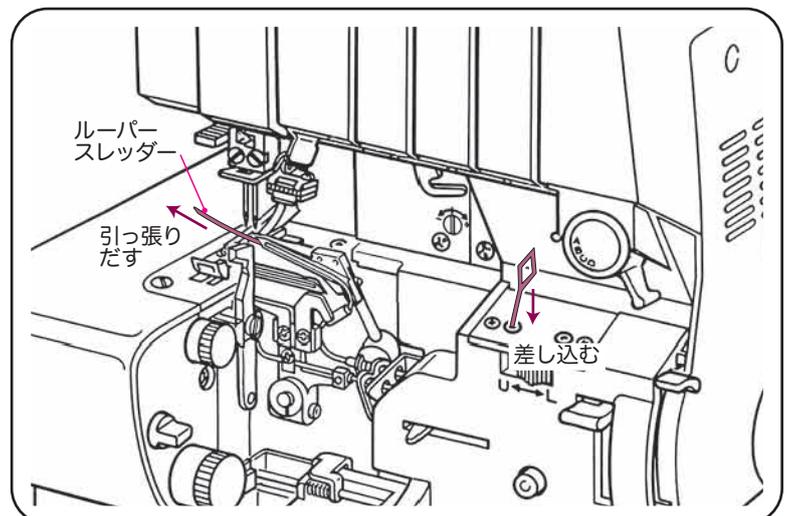
掃除と注油について

このミシンは特殊な材質を使用しているため油を注す必要はありませんが、切りながら縫うことが多いため、切りクズがたまります。掃除機を使ってホコリを吸い取るか、付属の掃除用ブラシを使って払ってください。また、音が高くなったりした場合は、駆動部(動いている部分)に1~2滴、ミシン油を注してみてください。

[注] エアスルーシステムのパイプの穴部分には絶対に油を入れしないでください。

エアスルーパイプの掃除

まず「はずみ車」の固定(P10参照)をします。次に「糸通し穴」から『ルーパースレッダー』(P5参照)を差し込み、ルーパーの先端から出てきたら引っ張り出します。この作業を数回繰り返すと、パイプにたまった糸クズが取れます。

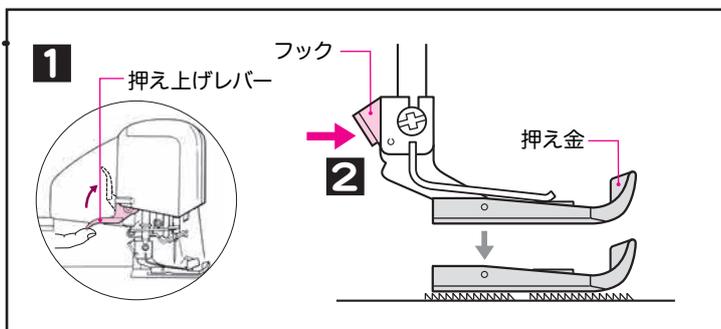


押え金の取り付け・取りはずし方

専用アタッチメント(各種押え金)を使用する場合の、押え金の取り付け・取りはずしは、下記の要領で行ってください。

【取りはずし方】

- 1 押え上げレバーで押え金を上げる。
- 2 フックを押すと押え金はずれる。

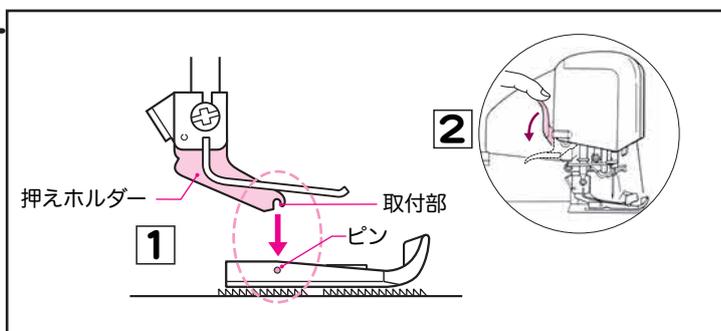


【取り付け方】

- 1 押えホルダーの取付部の真下に、押え金のピンがくるように置く。
- 2 押え上げレバーを下げる。

ワンポイント

押え金が入りにくい場合は、
押え上げレバーをさげたま
まフックを押してください。

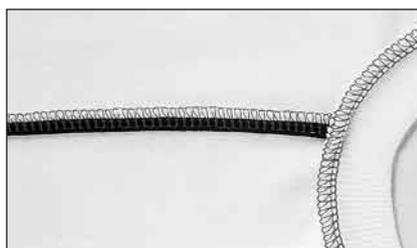


バルキー押えの使い方

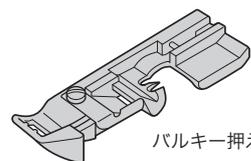
付属の「バルキー押え」は、

- あこ〜でおん(差動)を使って縮み縫いをするとき、縮み量をより多くしたいときや、
- 右のように、縁かがりと同時に、伸び止めテープ(ウーリスピンテープ)や各種テープを入れるときに使用します。

テープの入れ方は下記の通り。

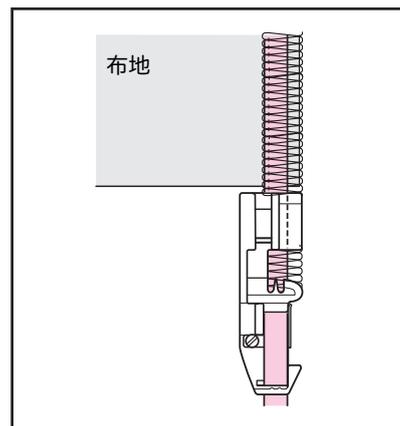
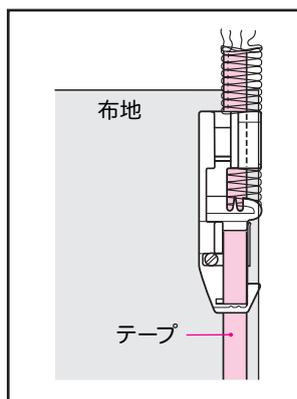
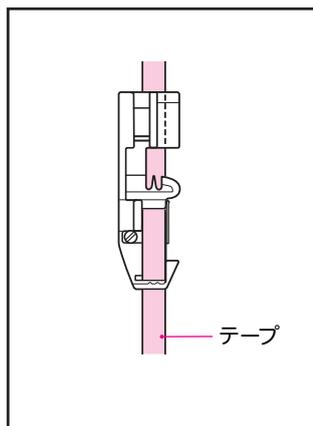


肩部分の合わせ縫いに最適



バルキー押え

- 1 バルキー押えにテープを通しておく。
- 2 針を一番上に上げ、上記の押え金の【取り付け方】を参照にして「バルキー押え」をミシンに取り付ける。
- 3 テープだけを先に数cm縫っておき、布地を入れて縫い始める。
- 4 縫い終わりもテープだけを数cm縫ってからミシンを止める。





ケガをする
恐れが
あります。

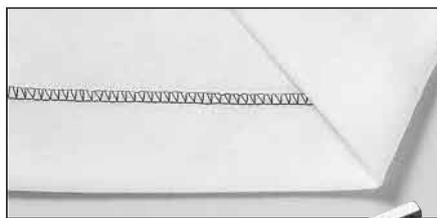
押え金の交換をする場合などは、
必ず電源を切ってください。通電
したままだとミシンが急に動くなど
危険です。

各種押え金

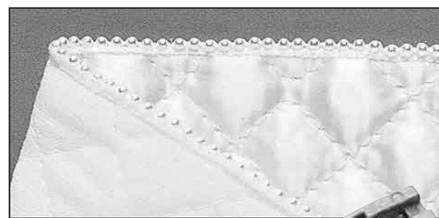
別売のアタッチメント(押え金)に交換すれば、ビーズ入れやゴム入れ、コードパイピング付けなど、いろいろな縫い方が楽しめてソーイングの幅がグーンと広がります。

～お求めはベビーロック販売店へ～

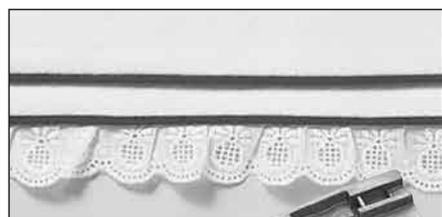
ATTACHMENT



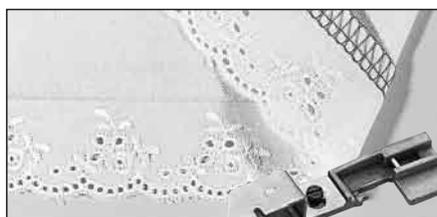
まつり縫い(ニット)
ニット用裾まつり押え
2,100円(税込・別売)



ビーズ入れ
ビーズ押え
2,100円(税込・別売)



パイピング付け
パイピング押え
3mm用/5mm用
各2,100円(税込・別売)



レース付け
レース押え
2,100円(税込・別売)

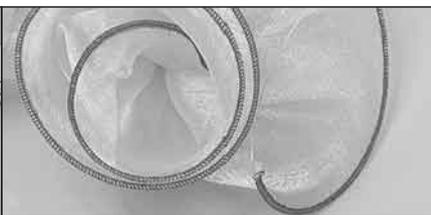


フリル付け
セパレート押え
2,625円(税込・別売)



ゴム入れ

ゴム押え(テグス入れ兼用)
3,150円(税込・別売)



テグス入れ



アタッチメント(押え金)セット
(レース押えを除く)

※「糸取物語・衣縫人」の
4本糸ロック専用

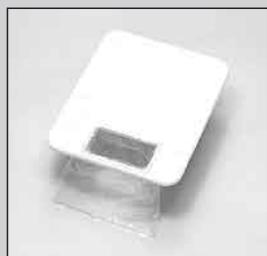
8,400円(税込・別売)

セット内容:
ニット用裾まつり押え、パイピング押え(3mm用と5mm用)、ビーズ押え、ゴム押え、セパレート押えの6種類

その他の便利グッズ

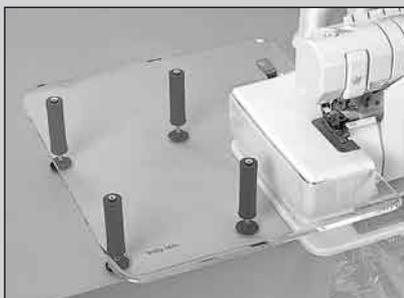
切りクズを裁断と 同時にまとめる トリムビン(切りクズ受け)

布を切った後の切りクズを、袋に受けてそのままボイ。
ミシン本体の下に敷くだけで、ミシンまわりはいつもクリーン。
1,890円(税込・別売)



手元がよりワイドに使える 専用クリアテーブル

大きな布地を縫うときに便利なクリアテーブル。手元がよりワイドに使い、効率よく作業ができます。
9,450円(税込・別売)

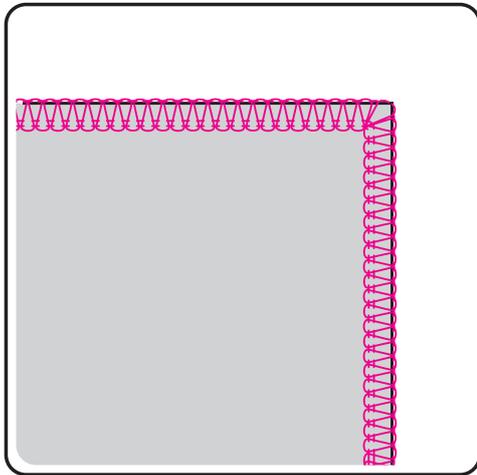


防振・防音用 ベビーロックマット

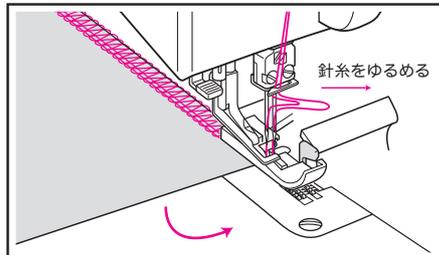
ミシン本体の下に敷くことにより、ミシンの振動や音の発生を軽減します。
2,625円(税込・別売)



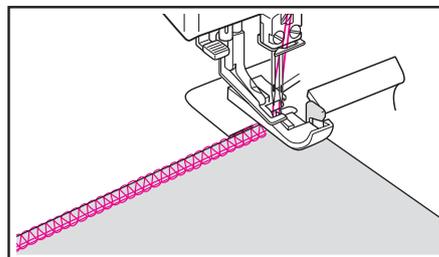
外角を縫う時のポイント



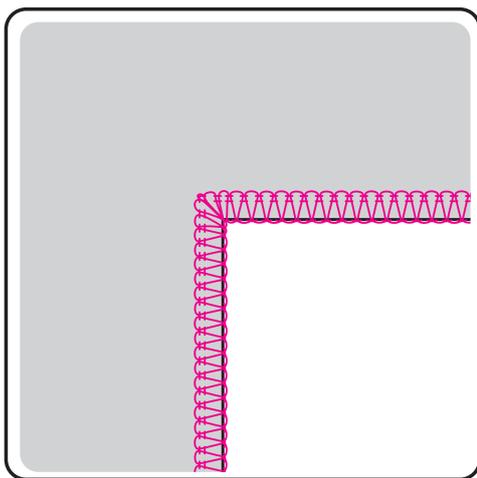
1 角まで来たら、針を上を上げ、針糸をゆるめる。



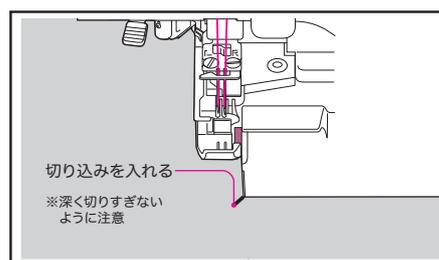
2 生地を90度回転させてから、再び縫い始める。



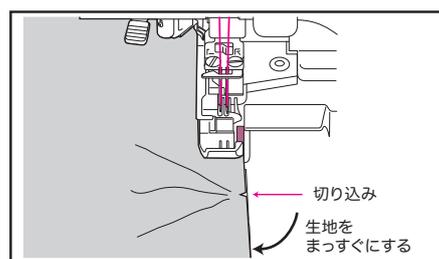
内角を縫う時のポイント



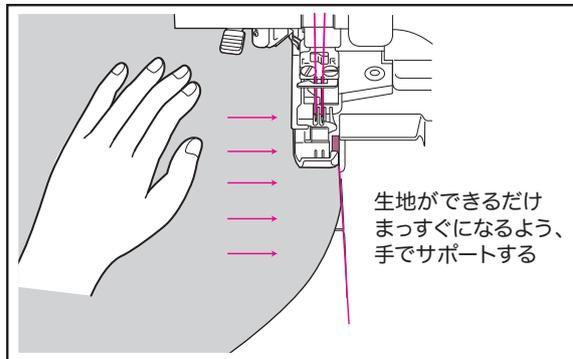
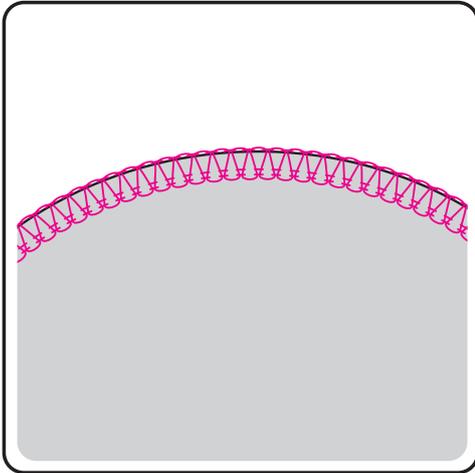
1 最初に内角部分に2~3mmの切れ込みを入れておく。



2 角の手前まで来たら、生地を開いて、まっすぐにしてから縫う。



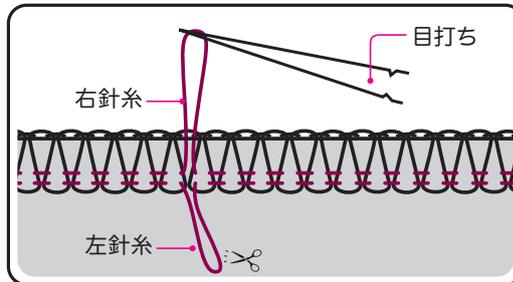
カーブを縫う時のポイント



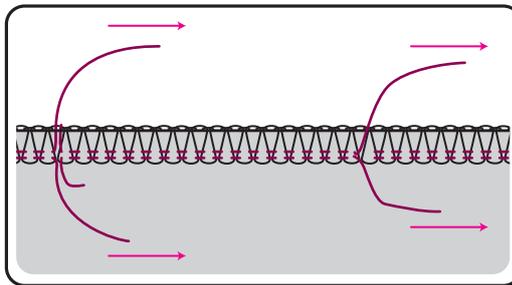
メス位置から針落ち位置までの間、生地がまっすぐになるように、手で生地を右側にサポートしながら縫う。
メスを固定して、メスをガイドにして縫うと縫いやすい。

縫い目のほどき方

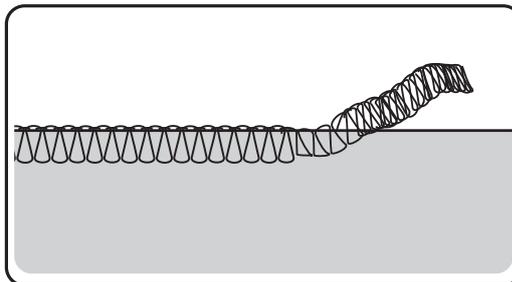
- 1** 右針糸と左針糸を数カ所、目打ちなどを使って引き出し切る。



- 2** 右針糸と左針糸をそれぞれ引っ張って取り除く。



- 3** 針糸が取れるとルーパー糸は簡単に生地からはずれる。



ミシンが動かない等の異常がありましたら、修理を依頼される前に下記のことをご確認ください。

状 況	確認内容	参照ページ
ミシンが動かない!	<input type="checkbox"/> 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。…………… 6 <input type="checkbox"/> 照明ライトスイッチが[I]になっていますか。…………… 6 <input type="checkbox"/> はずみ車の「固定の解除」がされていますか。…………… 10	
まったく縫えない!	<input type="checkbox"/> 押え金下がっていますか。…………… 7	
普通ロックがうまく縫えない!	<input type="checkbox"/> 4本糸ロックで縫う場合は縫い目切換ダイヤルが[A]になっていますか。… 19 <input type="checkbox"/> 3本糸ロックで縫う場合は縫い目切換ダイヤルが[B]になっていますか。… 20 <input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが[普通ロック]側の数字になっていますか。…………… 19・20 <input type="checkbox"/> 糸調子皿から糸がはずれていませんか。…………… 19 <input type="checkbox"/> あこ〜でおんレバーの位置は適切ですか。…………… 18	
巻きロックがうまく縫えない!	<input type="checkbox"/> 縫い目切換ダイヤルが[C]または[D]になっていますか。…………… 21・22 <input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが[巻きロック]側の数字になっていますか。…………… 21・22 <input type="checkbox"/> かがり幅ダイヤルが[M]になっていますか。…………… 21・22 <input type="checkbox"/> あこ〜でおん(差動)レバーの位置は適切ですか。…………… 18	
目とび、糸切れがする!	<input type="checkbox"/> 針は指定の[オルガンHA×1 SP]がついていますか。…………… 23 <input type="checkbox"/> 針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。…………… 23 <input type="checkbox"/> 曲がったり、針先が磨耗している針がついていませんか。…………… 23 <input type="checkbox"/> 糸かけが間違っていないですか。…………… 11~14 <input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。…………… 11~14 <input type="checkbox"/> 古い糸や粗悪な糸を使用していないですか。…………… 9	
メスが布地を切らない!	<input type="checkbox"/> メス固定ダイヤルが[LOCK(固定)]になっていませんか。…………… 8 <input type="checkbox"/> 上メスが磨耗していませんか。…………… 24	
エアレバーを押しても糸が通らない!	<input type="checkbox"/> 「はずみ車の固定」がされていますか。…………… 10 <input type="checkbox"/> ルーパー糸通し上下切換スイッチの位置は正しいですか。…………… 11・12 <input type="checkbox"/> 糸通し穴に糸が約2cm挿入されていますか。…………… 11・12 <input type="checkbox"/> 糸通し穴の手前で糸を20cmほどたるませていますか。…………… 11・12 <input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。…………… 11・12 <input type="checkbox"/> パイプの中にゴミがたまっていますか。…………… 24	
ラクスルー(自動針糸通し)で糸が針穴に通らない!	<input type="checkbox"/> はずみ車の緑の指針が合っていますか。…………… 13 <input type="checkbox"/> 針糸通し左右切換スイッチの位置は正しいですか。…………… 13	

アフターサービスについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

- 縫い形式：2本針4本糸オーバーロック
1本針3本糸オーバーロック
- かがり幅：2本針4本糸ロック 5.5～7.5mm
1本針3本糸ロック 3.0～7.5mm
巻きロック 1.5mm(標準)
- 送り目：0.75～4.0mm
(縫い目の長さ)
- あこ～でおん比率：0.6～2.0
(差動比=伸ばし・縮みの比率)
- 縫い速度：毎分1,500針(常用)
- 使用針：オルガンHA×1SP(#11,#14)
- 使用糸本数：4本または3本
- 消費電力：120W(照明ライト含む)
- 照明ライト：100V 15W
- ミシンの大きさ：奥行280×幅340×高さ290mm
- ミシンの重さ：7.8kg(モーター付完成品)

仕様の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

糸取物語

ご使用のてびき

baby lock

株式会社 **ジューキ** <http://www.babylock.co.jp>

本社／〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL03(3265)2851(代表)

札幌 011(737)6821 新潟 0250(43)4451 東京 03(3265)8741

名古屋 052(917)3671 大阪 06(6768)3651 広島 082(227)5781

福岡 0942(44)7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ

お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
	TEL		

修理やアフターサービス等でミシンを送付する必要がある場合があります。そのため、梱包箱は捨てないで保管されることをお勧めします。